

適度なストレス

解説

問1 エ

問2 そのことについて考えれば考えるほど、ストレスには私たちにとって何か
価値があるように思われた。

問3 イ. make up for

問4 do I start working seriously to get the job done

問5 エ. a desire for improvement

問6 ストレスの多い活動を長期間要求する方針を持っている会社に雇われてい
る人たちは、同情に値する。なぜならあまりに多くのストレスは逆効果を招
くからである。

問7 イ

▷ 設問解説 ◁

問1 this advice の具体的な内容は第1段落第2, 3文に述べられている。

問2 全体の構造は、the + 比較級 … , the + 比較級～「…すればするほど、ますま
す～」の表現を用いたもの。it seemed that … は「…だと思われた」という表
現。また、there is の後ろに省略された語句を補うと there is some value for
us in it となる。in it の it は stress を指す。

問3 第3段落第4文の「1年中きちんと勉強すれば、心配などせずに試験に臨める」
という内容と、空所の前の「しかし実際には、ほとんどの学生はできるだけ最
後まで勉強をしない」という内容から「無駄にした時間を埋め合わせる」となる
ようにイを選ぶ。

ア.「を廃止する」イ.「を埋め合わせる」ウ.「を我慢する」エ.「を切らす」

問4 only のついた副詞節が文頭にきているため倒置(疑問文の語順)の形が起きる。
よって、do I start が確定する。次に、第4段落第2文の「クリスマスカード
や手紙を遅くまで放っておいて、楽に終えられなくなると気づく」という内容
から「緊張が高まってはじめて、仕事を終わらせるために真剣に働き始める」
という意味の英文が求められていることがわかる。

例 Only when he left me did I realize how much I loved him.

「彼が去ってはじめて、私はどれほど彼を愛していたかわかった」

start doing 「…し始める」 seriously 「真剣に」

get O done 「Oを…してしまう」

問5 下線部の具体的な内容は直後のダッシュ以下に述べられている。また、下線部
を含む文の構造は What has been called “divine discontent”(S) produces(V)
progress(O) である。したがって、divine discontent とは、「何であれ現在の状
況への創造的な不満であり、進歩を生み出すもの」ということになる。

ア.「精神的な病気」

イ.「ストレスへの無関心」

ウ.「道義についての不満」

エ.「改善に対する願望」

divine 「神聖な」 discontent 「不満」

問6 who are … stressful activity は主語 Those of us を修飾する関係代名詞節。
また、whose policies … stressful activity は関係詞節中にある a company を
修飾する関係代名詞節である。なお、those は those who … 「…する人たち」
の形でよく用いられ、ここでは「私たちのうちの…する人たち」が逐語訳。動
詞 are to be sympathized は be+to 不定詞の表現で、ここでは可能を表し
「同情できる」という意味になる。since 以下は主節の理由を述べている。

employ 「を雇う」 policy 「方針／政策」 demand 「を要求する」

since S V … 「…ので」 counterproductive 「逆効果の」

問7 ア. 本文に記述なし。

イ. 本文全体、特に第5, 8段落の内容に一致。

ウ. 第1段落第2, 3文の内容に不一致。

エ. 第5段落第2文の内容に不一致。

【AGRA�】日本語による内容一致問題

内容一致問題の選択肢が日本語で与えられている場合は、まず選択肢に目を通
してみること。繰り返し使われている語句に着目することで、今から読むこと
になる英文の内容に関するヒントが得られるはずである。本問では、選択肢の「ス
トレス」という語に着目すれば「ストレスの影響」について論じられた文章であ
ると予測することができる。日本語の選択肢がない場合でも、英文を読む前に設
間に目を通すようにしたい。設問の指示文から、英文の内容を推測できるこ
があるし、設問によっては最初から答えを探して本文を読むこともできる。

要約

園芸の専門家が植物にストレスを与えると美しい花を咲かせると言っていたが、人間の場合
もストレスが進歩を生むこともある。事前に準備があれば、ある程度のストレスはよい結果を
生むために必要であるかもしれない。(100字)

▶ 構文・語句解説 ◀

第1・2段落

¹Listening to a gardening program the other day, I was struck by something the expert said about a particular type of potted plant. ²Do not water it once it has come into bud, he advised. ³Cause it to feel stress, and it will produce more, and more beautiful, flowers.

⁴Surely this advice is against everything that we are told by doctors. ⁵Stress is bad for us, they say. ⁶Stress is the cause of all sorts of diseases. ⁷Stress caused by overwork sometimes results in early death. ⁸Newspaper and magazine articles tell us how to reduce stress, or how to avoid it altogether. ⁹No one has a good word for stress.

¹先日、園芸の番組を聞いていて、ある種の鉢植え植物について専門家が言ったことに感心した。²いったん芽を出したら、その植物には水をやるなどその人は忠告したのだ。³ストレスを感じさせると、より多く、しかもより美しい花を咲かせるのだ。

⁴確かにこの忠告は、私たちが医者に言われることすべてに反するものである。⁵医者が言うには、ストレスは身体によくない。⁶ストレスはあらゆる種類の病気の原因なのである。⁷働き過ぎによるストレスは、ときには早死にという結果になる。⁸新聞や雑誌の記事はストレスを減らす方法とかストレスを完全に避ける方法を教えてくれる。⁹ストレスに対してよいことを言う人はいない。

¹ Listening to ... day は時を表す分詞構文。

the expert ... potted plant は something を修飾する関係代名詞節。

gardening 「園芸」 the other day 「先日」 be struck 「感心する」

expert 「専門家」 potted plant 「鉢植えの植物」

² Do not ... into bud および Cause it ... flowers は専門家が忠告した内容。

water 「水をやる」 once S V ... 「いったん…すると」

³ Cause it ..., and it will ... は、命令文、and ... 「…しなさい、そうすれば～」の表現。

cause O to do 「Oに…させる」 produce 「生む」

⁴ surely 「(文修飾で)確かに」 against A 「Aに逆らって、反して」

⁶ sort 「種類」 disease 「病気」

⁷ result in A 「Aという結果になる」

⁸ article 「記事」 reduce 「を減らす」 altogether 「完全に」

⁹ have a good word for A 「Aをほめる」

第3段落

¹And yet, I asked myself, if stress is good for plants, can there possibly be any value for us in it? ²The longer I thought about it, the more it seemed to me that there is. ³Without a certain degree of tension and stress, we are apt to become lazy and neglect our duties. ⁴All students know that they should study regularly throughout the year, and then be able to face examinations without fear. ⁵In fact, most students leave this study till the last possible moment, and then hastily try to make up for lost time.

¹しかし、私は自問した。ストレスが植物によいなら、その中にはひょっとすると私たちにとって何か価値があるのではないか。²そのことについて考えれば考えるほど、ストレスには私たちにとって何か価値があるようと思われた。³ある程度の緊張やストレスがなければ、私たちは怠け者になってやるべきことをおろそかにしがちである。⁴学生はみんな1年じゅうきちんと勉強すれば、心配などせずに試験に臨めることを知っている。⁵しかし実際には、ほとんどの学生はできるだけ最後まで勉強をしないでおいて、無駄にした時間をあわてて埋め合わせようとする。

¹ if stress ... ? の疑問文は筆者が自問した内容である。in it の it は stress を指す。

and yet 「しかし」 ask oneself 「自問する」 possibly 「ひょっとしたら」

³ certain A 「ある A」 degree 「程度」 tension 「緊張」

be apt to do 「…しがちである」 neglect 「を怠る」

duty 「(複数形で)務め、職責」

⁴ know の目的語の that 節は文末まで、study regularly ... と be able ... が and で結ばれている。

throughout A 「Aの間じゅう、Aを通じて」 face 「に直面する」

⁵ leave 「を放っておく」 hastily 「あわてて」

第4段落

¹Many of us, likewise, put off dealing with our problems until the deadline approaches.

²Every year I resolve that I will write all my Christmas cards and letters ahead of time, and avoid a last-minute rush; and every year I find that once again I have left it too late for me to finish comfortably. ³Only when the tension increases do I start working seriously to get the job done.

¹ 同様に、私たちの多くも期限が近づくまで問題に対処するのを引き延ばす。² 毎年、私はクリスマスカードや手紙をすべて早めに書いて、最後になってあわてないようにしようと決心する。そして毎年またしても気づいてみると、遅くなるまで放っておいて、楽に終えられなくなってしまう。³ 緊張が高まってはじめて、仕事を終わらせるために真剣に働き始めるのだ。

1 likewise 「同様に」 put A off 「Aを延期する」

deal with A 「Aを扱う、処理する」 deadline 「期限、締め切り」

2 too late for me to finish は too ... to do 「とても…なので～できない」の表現を用いたもので、for me は to finish の意味上の主語。

resolve that 節「…ということを決意する」 ahead of time 「(予定より)早く」

last-minute 「土壇場の」 rush 「あわただしさ」 comfortably 「心地よく」

第5・6段落

¹ In other fields too, when satisfaction enters in, creativity and curiosity go out of the window. ² What has been called "divine discontent"—a creative dissatisfaction with the present situation, whatever it is—produces progress. ³ And that dissatisfaction is one type of stress.

⁴ Thus, it seemed to me, a certain degree of stress is necessary for human progress.

⁵ Just how much is good, and how much is harmful, is the problem.

¹ ほかの分野でも満足が入ってくると創造性や好奇心は窓から出でていってしまう。² 「神聖な不満」と呼ばれているもの—何であれ現在の状況への創造的な不満—は、進歩を生み出す。³ そのような不満も一種のストレスなのである。

⁴ したがってある程度のストレスは人間の進歩にとって必要であると思える。⁵ いったいどれくらいがよくて、どれくらいが有害なのかが問題なのだ。

1 field 「分野」 enter in 「入り込む」 creativity 「創造性」 curiosity 「好奇心」

2 whatever it is は「譲歩」を表す副詞節。it は the present situation を指す。

dissatisfaction 「不満」 the present A 「現在の A」 situation 「状況」

progress 「進歩」 4 thus 「したがって」

5 Just は疑問詞を強調して「いったい」という意味。how much ... で始まる 2 つの疑問詞節が and で結ばれている。 harmful 「有害な」

第7・8段落

¹ Those of us who are employed by a company whose policies demand long periods of stressful activity are to be sympathized with, since too much stress is counterproductive.

² Those of us who are self-employed may have more freedom to choose our own best level of stress. ³ In either case, we need some preparation before the period of stress in order to be able to succeed.

⁴ So, like the potted plant in question, if we are watered sufficiently to begin with, and then left to struggle for a while on our own, we too may produce more and better flowers than one who, over-protected, has never had to try.

¹ ストレスの多い活動を長期間要求する方針を持っている会社に雇われている人たちは、同情に値する。なぜならあまりに多くのストレスは逆効果を招くからである。² 自営業の人たちは自分に最適なレベルのストレスを選ぶ自由はより多いかもしれない。³ どちらの場合も、うまくできるようになるにはストレスが生じる前にいくらか準備をしておく必要がある。

⁴ というわけで問題の鉢植えのように、私たちもはじめに十分に水が与えられ、それからしばらくの間、自力でがんばるように放っておかれると、過保護にされて努力をする必要がなかつた人より、より多く、しかもよりよい花を咲かせるかもしれない。ある。

2 self-employed 「自営の」 freedom to do 「…する自由」

3 either case 「どちらの場合も」とは、第7段落第1, 2文で述べられた「会社に雇われている場合」と「自営の場合」のこと。 preparation 「準備」

4 are watered ... begin with と left to ... our own が and で結ばれている。

who, over-protected, has never had to try は one を修飾する関係代名詞節で、over-protected は分詞構文。

one = a person

A in question 「当の A, 例の A」 sufficiently 「十分に」

to begin with 「初めに」 leave O to do 「Oに…させておく」

struggle 「がんばる、奮闘する」 for a while 「しばらくの間」

on one's own 「一人で／独力で」 over-protected 「過保護にされた」

解説

- 問1 誰かオーストラリアのおもしろくもない悪ふざけをする人が、オーストラリア大陸の距離と新奇さを利用して、はなはだしく異なる動物の様々な部分を縫い合わせて、英國の何も知らない動物学者をばかにしようと躍起になっているのだ。
- 問2 哺乳動物のように体に毛が生えていながら、水鳥のようなくちばしと足、ヘビのような毒のかぎづめ、卵を産むような穴が後部にあったから。(64字)
- 問3 内臓器官を調べることが可能な状態で標本を受け取ったとき、心臓はまさに哺乳動物のものに似ており、爬虫類のものとはまったく似ていないと思われた。
- 問4 *platypus* は学名としてすでに使われていたため重複は許されなかったから。
- 問5 エ, カ, ク

▶▶ 設問解説 ◀◀

- 問1 全体の文構造は、Some unfunny joker in Australia(S) ... , had stitched(V₁) ... and was(V₂) intent(C) ... である。なお、Some の訳出に注意。some は単数形の名詞の前で用いられて、「(具体的にはわからない)誰か、ある」の意味を表す。主語の後ろの taking advantage ... the continent は主語に補足説明を加える現在分詞句で、S, doing ..., V は「S は…し、V する」と訳出すればよい。
- 例 His mother, smiling softly, asked if she could be of any help.
「彼の母は優しく微笑んで、何かお手伝いしましょうかと聞いた」

- unfunny 「おもしろくない」 joker 「悪ふざけをする人、いたずら者」
- take advantage of A 「A を利用する」 strangeness 「未知、新奇さ」
- continent 「大陸」 stitch A together 「A を縫い合わせる」
- widely 「はなはだしく、ひどく」 creature 「動物」
- be intent on doing 「…することに没頭している、熱中している」
- make a fool of A 「A をばかにする」 innocent 「何も知らない」
- zoologist 「動物学者」

- 問2 下線部(2)は「爬虫類の特徴を持つ哺乳動物なのか、それとも哺乳動物の特徴を

持つ爬虫類なのか、あるいは一部が鳥なのか、いったい何なのか」という意味である。it は第 1・2 段落第 1 文で述べられた英國に送られてきた 1 つの剥製のことであり、英國の動物学者がその剥製を見て下線部(2)のような疑問を抱いた理由は、第 1・2 段落第 7 ~ 10 文で述べられている。したがって、この内容を制限字数内でまとめる。

- mammal 「哺乳動物」 reptilian 「爬虫類の」 characteristic 「特徴」
- reptile 「爬虫類」 mammalian 「哺乳動物の」 partly 「一部分は」

- 問3 in such condition as to make it possible to study the internal organs は「内臓器官を調べることが可能な状態で」という意味。it は形式目的語で、to study the internal organs が真目的語である。主節は it appeared that ... 「...と思われた」の表現で、that 節内の and は just like ... と not at all ... を結んでいる。また、2 つの those はともに the hearts のこと。
- specimen 「標本」 receive 「を受け取る」 internal organ 「内臓器官」
 - heart 「心臓」 be like A 「A に似ている」 not at all 「まったく…でない」
- 問4 第 5・6 段落第 3 文に *Platypus anatinus* と名づけられた理由が述べられ、第 5・6 段落第 5 文には、「それが *Ornithorhynchus paradoxus* に変更された」と述べられている。therefore 「それゆえに」に着目すれば、変更の理由がその前の第 4 文に述べられていることがわかる。よって、その内容を簡潔にまとめればよい。

- 問5 ア.「オーストラリアから持ち込まれた動植物はすべてなじみのあるもので、カモノハシも例外ではなかった」第 1・2 段落第 2 文および第 9・10 段落第 5 文の内容に不一致。
イ.「19世紀末までに動物学者はカモノハシの生態をすでに完全に理解していた」第 9・10 段落第 5 文の内容に不一致。
ウ.「卵を作る仕組みのように思われたものは、泳ぐための器官であるとわかった」第 7・8 段落第 3 文に関連するが、「泳ぐための器官」とは述べられていないので不一致。
エ.「哺乳動物ではあるが、カモノハシ以外にも卵を産む動物がいることが発見された」第 9・10 段落第 2 文の内容に一致。
オ.「カモノハシは限られた水温域にしか棲息できないことが今ではわかっている」第 9・10 段落第 6 文の内容に不一致。
カ.「初めてカモノハシが持ち込まれたとき、腹を立てる人もいたし、作り物だと考えた人もいたし、信じられない面持ちでじっと見つめる人もいた」第 1・2 段落第 6 文および第 3・4 段落第 1, 2 文の内容に一致。
キ.「動物学者はその剥製の動物がどこで生まれたのかについて何十年も激しく

議論を続けた」第5・6段落第1文に関連するが、第6文に述べられているように議論したのは本物かどうかについてなので不一致。

ク.「あるメッセージによって、モントリオールにいる英国の科学者に、カモノハシ以外の毛の生えた動物が産んだ卵がある」と伝えられた」第9・10段落第2文および第4文の内容に一致。

Advanced 英語による内容一致問題

英語による内容一致問題の選択肢にはかなり紛らわしいものや、英文全体の内容の読み取りに関するものもあるが、選択肢の作り方にはいくつかの典型的なパターンがある。1. 否定表現（部分否定や not や never を用いない否定表現に注意）、2. 頻度や限定の副詞（特に always や only に注意）、3. 数量表現（特に all や every に注意）、4. 比較表現（何と何をどのような基準で比較しているかに注意）、5. 仮定法（直説法の内容を仮定法で問う）などがポイントになっていることが多い。したがって、上記の表現には特に注意して選択肢と本文の対応箇所をよく読んで、落ち着いて解答することが大切である。本問の問5のアでは否定表現に、オでは only に注意すること。

要約

オーストラリア大陸から奇妙な動物の剥製が英國に届き、その正体をめぐって様々な議論がなされたが、20世紀になってようやくその生態が明らかとなった。それはカモノハシと呼ばれる卵生の哺乳動物であった。(96字)

構文・語句解説

第1・2段落

¹In 1800, a stuffed animal arrived in England from the newly discovered continent of Australia. ²The continent had already been the source of plants and animals never seen before – but this one was ridiculous. ³It was nearly two feet long, and had fur-covered skin. ⁴It also had a flat rubber-like bill, a piece of skin between its toes, a broad flat tail, and a spur on each hind leg that was clearly intended to produce poison. ⁵What's more, under the tail was a single opening.

⁶Zoologists stared at the thing in disbelief. ⁷Hair like a mammal! ⁸Bill and feet like an aquatic or water bird! ⁹Poison spurs like a snake! ¹⁰A single opening in the rear as though it laid eggs!

¹1800年に、新たに発見されたオーストラリア大陸から英國に1つの剥製の動物が届いた。
²すでにオーストラリア大陸は今まで1度も見たことのない植物や動物の宝庫となっていた。しかし、これはとんでもない代物だった。³体長は2フィート近くあり、毛に覆われた皮を持っていた。⁴また平たいゴムのようなくちばし、足の指の間には皮膚のようなもの、幅広い平らなしつぼがあり、そして明らかに毒を出すためのかぎづめが後ろ足のどちらにもあった。⁵おまけにしつぼの下にはたった1つの穴があった。

⁶動物学者は信じられない面持ちでその物を見つめた。⁷哺乳動物のような毛！⁸水生動物、つまり水鳥のようなくちばしと足！⁹ヘビのような毒のかぎづめ！¹⁰卵を産むかのような後部の1つの穴！

2 this one の one は stuffed animal のこと。

source 「源泉、源」 ridiculous 「ばかげた、とんでもない」

fur-covered 「毛皮に覆われた」 skin 「皮膚／皮」

flat 「平たい」 rubber-like 「ゴムのようない」 bill 「くちばし」 toe 「足の指」

hind 「後ろの」 be intended to do 「…するためのものである」

produce 「を出す、生む」 poison 「毒」

5 under the tail was a single opening は副詞句 + V + S の語順。 what's more 「そのうえ」

6 stare at A 「Aをじっと見る」 in disbelief 「信じられずに」

8 or water の or は言い換えを表し「つまり」という意味。

例 I saw a puma, or American lion in the zoo. 「私は動物園でピューマつまりアメリカライオンを見た」

aquatic 「水生の」

10 rear 「後ろ」 lay an egg 「卵を産む」

第3・4段落

¹There was an explosion of anger. ²The thing was a joke. ³Some unfunny joker in Australia, taking advantage of the distance and strangeness of the continent, had stitched together parts of widely different creatures and was intent on making fools of innocent zoologists in England.

⁴Yet the skin seemed to fit together. ⁵There were no signs of artificial joining. ⁶Was it or was it not a fake? ⁷And if it wasn't a fake, was it a mammal with reptilian characteristics, or a reptile with mammalian characteristics, or was it partly bird, or what?

¹怒りが爆発した。²それは悪ふざけだ。³誰かオーストラリアのおもしろくもない悪ふざけをする人が、オーストラリア大陸の距離と新奇さを利用して、はなはだしく異なる動物の様々な部分を縫い合わせて、英國の何も知らない動物学者をばかにしようと躍起になっているのだ。

⁴しかし、皮はぴったりと合っているようだった。⁵人工的に縫い合わせた痕跡はなかった。⁶模造品なのだろうか、それとも模造品ではないのだろうか。⁷また、もしそれが模造品でないのなら、爬虫類の特徴を持つ哺乳動物なのか、それとも哺乳動物の特徴を持つ爬虫類なのか、あるいは一部が鳥なのか、いったい何なのか。

1 explosion 「爆発」

4 seem to do 「…するように思われる」 fit together 「ぴったりと合う」

5 sign 「痕跡、形跡」 artificial 「人工的な」 joining 「つなぎ合わせること」

6 fake 「模造品」

第5・6段落

¹The discussion went on heatedly for decades. ²Even the name emphasized the ways in which it didn't seem like a mammal despite its hair. ³One early name was *Platypus anatinus*, which is Latin for "Flat-foot, duck-like." ⁴Unfortunately, the term "platypus" had already been applied to a type of beetle and there could be no duplication in scientific names. ⁵It therefore received another name, *Ornithorhynchus paradoxus*, which means "Bird-beak, paradoxical."

⁶Slowly, however, zoologists had to reach agreement and admit that the creature was real and not a fake, however upsetting it might be to zoological notions. ⁷For one thing, there were increasingly reliable reports from people in Australia who caught glimpses of the creature alive. ⁸The *paradoxus* was dropped and the scientific name is now *Ornithorhynchus anatinus*.

¹議論は何十年も激しく続いた。²毛があるにもかかわらず哺乳動物らしからぬその姿を、その名前までもが強調していた。³初期の名前はプラティップス・アナティヌスであった。これは「平たい足の、アヒルのような」を表すラテン語である。⁴残念なことに、「プラティップス」という言葉はすでにある種のカブトムシに適用されており、科学用語には重複は許されていなかつた。⁵そのため、それはオルニソリンクス・パラドクサスというほかの名前をもらうことになった。これは「鳥のくちばしの、逆説的な」という意味である。

⁶しかし、どんなにそれが動物学的観念を揺るがすようなものであろうと、動物学者たちは次

第に合意に達し、その動物が本物であり模造品ではないことを認めざるをえなかった。⁷1つには、生きたその動物を見かけたオーストラリアの人々から、ますます信頼できる報告が寄せられてきたからである。⁸パラドクサスは取り下げられ、今では科学名は「オルニソリンクス・アナティヌス」である。

1 go on 「続く」 heatedly 「激しく」 decade 「10年」

2 emphasize 「を強調する」 seem like A 「Aのように思われる」

3 Latin 「ラテン語の」

4 term 「用語」 apply A to B 「AをBに適用する」 beetle 「カブトムシ」

duplication 「重複」

6 however upsetting ... zoological notions は、was real, not a fake を修飾する讓歩を表す副詞節。

agreement 「合意」 upsetting 「動搖させるような」

7 for one thing 「1つには」 increasingly 「ますます」 reliable 「信頼できる」

catch a glimpse of A 「Aをちらっと見る」

8 drop 「を捨てる、除く」

第7・8段落

¹To the general public, however, it is the "duckbill platypus," or even just the duckbill, the queerest mammal (assuming it is a mammal) in the world.

²When specimens were received in such condition as to make it possible to study the internal organs, it appeared that the heart was just like those of mammals and not at all like those of reptiles. ³The egg-forming machinery in the female, however, was not at all like that of mammals, but like that of birds or reptiles. ⁴It seemed really and truly to be an egg-layer.

¹しかし、一般の人にとっては、それは「ダックビル・プラティップス」またはただのダックビルであり、世界一奇妙な哺乳動物(哺乳動物と仮定したことだが)である。

²内臓器官を調べることが可能な状態で標本を受け取ったとき、心臓はまさに哺乳動物のものに似ており、爬虫類のものとはまったく似ていないように思われた。³しかし、雌が卵を作る仕組みは哺乳動物のものとはまったく違っており、鳥類か爬虫類のものに似ていた。⁴それは本当に産卵する動物のように思われた。

1 the general public 「一般大衆」 queer 「奇妙な」

assume (that) 節 「…だと仮定する」

3 machinery 「仕組み」 female 「雌」

not X but Y 「XではなくY」 X, Yには like で始まる前置詞句がきている。

4 really and truly 「本当に、まさに」 egg-layer 「産卵する動物」

内容を具体的に述べたもの。

fresh water 「淡水」 a variety of A 「様々なA」 tropical 「熱帯の」

stream 「川」 sea level 「海平面」 elevation 「高度、海拔」

第9・10段落

¹It wasn't till 1884, however, that the actual eggs laid by a creature with hair were found. ²They were not the eggs of a platypus, but another Australian species, the spiny anteater. ³That was worth an excited announcement. ⁴A group of British scientists were meeting in Montreal at the time, and the egg-discoverer, W. H. Caldwell, sent them a message to announce the finding.

⁵It wasn't till the twentieth century that the intimate life of the duckbill came to be known. ⁶It is an aquatic animal, living in Australian fresh water at a wide variety of temperatures — from tropical streams at sea level to cold lakes at an elevation of a mile.

¹しかし、1884年にはじめて毛のある動物から実際に産まれた卵が発見された。²その卵はカモノハシの卵ではなく、もう1つのオーストラリア種であるハリモグラの卵であった。³それは興奮のうちに発表されるに値した。⁴ある英国の科学者グループがそのときモントリオールで会合を開いていたのだが、卵の発見者 W. H. コールドウェルは彼らにその発見を知らせるメッセージを送ったのだ。

⁵20世紀になってはじめてカモノハシの詳しい生態が知られるようになった。⁶それは、海面レベルの熱帯の川から1マイルもの高度にある冷たい湖にいたるまでの、実に様々な温度の所で、オーストラリアの淡水に生息する水生動物である。

1 it isn't till ... that ~ 「…してはじめて～する」

2 They were not the eggs of a platypus, but another Australian species は not X but Y 「XではなくY」を用いたもので、They were the eggs of not a platypus, but another Australian species の not が前に出た形となっている。another Australian species と the spiny anteater は同格の関係。

species 「種」

3 be worth A 「Aに値する」 announcement 「発表」

5 intimate 「詳しい」 come to do 「…するようになる」

6 living in ... of temperatures は分詞構文。ダッシュ以下は at a wide variety of temperatures の

3

緑の革命

解説

問 1 ウ. keep up with

問 2 (2a) ウ. the expense of the new farming methods

(2b) エ. soil erosion

(2c) イ. the nature of the chemicals that farmers have used

(2d) ア. social and political conflict

問 3 the grain people used to grow

問 4 広い土地の所有者が新しい穀物生産に投資をし、そこから得た利益で小規模農家から土地を買収すること。(48字)

問 5 世界の飢えた人々の要求をよりよく満たし、またそれほど有害でもない新しい方法を彼らは見つける必要がある。

問 6 ウ. Some negative aspects of the "Green Revolution"

▶ 設問解説 ◀

問 1 第1・2段落第5文に「『緑の革命』はうまくいっていない」と述べられていることから、「増加する人口にもかかわらず、それに対して食糧生産が何をしていないのか」を考える。

ア.「を取り除く」イ.「がなくなる」ウ.「に遅れないでついていく」エ.「を思いつく」

問 2 (2a)第3段落第4文以降に expensive 「費用のかかる」農業方法であることが述べられていることから判断する。

(2b)第4・5段落第2, 3文に「土壤」について述べられていることから判断する。

(2c)第4・5段落第7文以降に「肥料として使用される化学薬品」について述べられていることから判断する。

(2d)第6・7段落第3～6文以降に述べられている「大規模土地所有者と小規模農家の関係」から判断する。

ア.「社会的、政治的な衝突」

イ.「農場経営者が使ってきた化学薬品の性質」

ウ.「新しい農業の方法の費用」

エ.「土壤浸食」

問 3 比較対象は文法的に同等のものでなければならないことに注意。本問では「新種の穀物」と「従来の穀物」が必要とする水の量が比較されている。したがって、「新種の穀物は人々が従来栽培してきた穀物よりずっと多くの水を必要とする」という意味の英文を作ることになる。よって、正解は the grain people used to grow となる。people 以下は the grain を修飾する関係代名詞節。なお、people used to grow the grain としないこと。比較対象が「穀物」と「人々が以前は穀物を栽培していた」となり、文法的に成立しない。

grain 「穀物」 used to do 「以前…した」 grow 「を栽培する」

問 4 下線部(4) This way は「こうして」という意味。それに続く内容「大規模土地所有者はいっそう金持ちになり、土地を持たない貧しい人の数が増える」が「こうして」生じる結果であるので、その内容を前の内容にさかのぼって求める。直前の第6・7段落第3, 4文で述べられた「広い土地の所有者が新しい穀物の生産に投資し、その利益で小規模農家から土地買収をする」という内容を指している。

問 5 They(S) need(V) to find ... (O) が全体の文の構造であるが、that will ... hungry people と that will ... less harmful が共に new methods を修飾する関係代名詞節であることを見抜くことがポイント。なお、関係代名詞節中の2つの比較級 better と less harmful はそれぞれ、「現在の方法に比べて」という比較対象が文脈より明らかにするために明示されていない。また、「〈要求・必要など〉に応じる、満たす」という意味の meet の訳出にも注意。

例 Until our demands are met we will remain on strike.

「要求が受け入れられるまでストを続行するつもりだ」

method 「方法」 harmful 「有害な」

問 6 本文全体にわたって、「緑の革命」がうまくいっていない理由が述べられていることから判断する。

ア.「『緑の革命』が及ぼす環境への影響」

イ.「『緑の革命』による食糧生産の増加」

ウ.「『緑の革命』のマイナス面」

エ.「『緑の革命』の成功」

[Additional タイトル選択問題]

タイトル選択問題は、英文全体の主題を押さえることが大切である。各段落に述べられている個々のトピックを捉えつつ、すべての段落に共通する主題を押さえなければならない。本問の問6のアのように、本文の一部だけにあてはまるよ

うなものをタイトルとして選ばないこと。この英文では、第1・2段落で「緑の革命」を紹介し、それが失敗であったことを述べ、続く4つの段落で失敗の理由を挙げている。この流れから英文全体を貫く主題がどのようなものであるのかを判断すること。

要 約

「緑の革命」と呼ばれる農業の方法の問題点が明らかになっている。環境や健康への影響、土壤の流失、農場経営者の経済的負担など「緑の革命」が抱える問題点を見直し、新たな農業のあり方を見つけるべき時である。(99字)

▶ 構文・語句解説 ◀

第1・2段落

¹From 1950 to 1980, the so-called "Green Revolution" swept the world. ²World food production doubled with the introduction of a new approach to agriculture. ³It involved the large-scale cultivation of new types of grain (wheat, corn, and rice), and the extensive use of chemicals and farm machinery.

⁴These ideas were the cause of the early, enormous success of this "revolution." ⁵However, the "Green Revolution" methods no longer appear to be so successful. ⁶Though the population continues to grow, food production has failed to keep up with it.

1950年から1980年までいわゆる「緑の革命」が世界を席巻した。²世界の食糧生産は農業の新しい方法の導入とともに倍増した。³それには新しいタイプの穀物（小麦、トウモロコシ、そして米）の大規模な耕作と、化学薬品と農業機械の広範囲にわたる使用が含まれていた。

⁴このような考えはこの「革命」の初めのうちは大成功をおさめた。⁵しかし、「緑の革命」の方法はもはやそれほどうまくいってはいないようである。⁶人口は増加し続けるけれども、食糧生産はそれについていっていない。

1 □ so-called 「いわゆる」

□ the Green Revolution 「緑の革命」農業に急激な変革をもたらした新しい生産方法のこと。

□ sweep 「を席巻する、にまたたく間に広がる」

2 □ double 「倍増する」 □ introduction 「導入」

□ approach to A 「Aへの研究方法、手がかり」 □ agriculture 「農業」

3 the large-scale cultivation of new types of grain (wheat, corn, and rice) と the extensive use of chemicals and farm machinery が and で結ばれている。

- involve 「を含む」
- large-scale 「大規模な」
- cultivation 「耕作」
- wheat 「小麦」
- extensive 「広範囲の」
- chemical 「化学薬品(の)」
- machinery 「機械類」
- 4 □ enormous 「巨大な」
- 5 □ no longer 「もはや…ない」
- appear to do 「…するように思われる」
- 6 □ population 「人口」
- grow 「増える／発展する」
- food production 「食糧生産」
- fail to do 「…しない」

第3段落

¹There are a number of reasons for this. ²One reason lies in the expense of the new farming methods. ³The new kinds of grain produce much more than traditional grains, but only under certain conditions. ⁴In order to get maximum production, farmers must use large amounts of expensive chemical fertilizers. ⁵They also need to use expensive chemical insecticides since the new grains are more easily damaged by insects. ⁶Expensive watering systems are also necessary for these grains, especially in drier areas. ⁷Many farmers cannot afford to buy all the chemicals and equipment.

1これにはいくつかの理由がある。²1つの理由は新しい農業の方法の費用にある。³新種の穀物の生産量は従来の穀物よりもずっと多いが、これはある一定の条件の下においてのみ可能である。⁴最大の生産を得るために、農場経営者は費用のかかる多量の化学肥料を使わなければならない。⁵また、新種の穀物は昆虫による被害を受けやすいので、費用のかかる化学的な殺虫剤も使う必要がある。⁶費用のかかる灌漑設備も、特に乾燥地域では、これらの穀物には必要である。⁷農場経営者の多くはそうした化学薬品や設備をすべて買う余裕はない。

1 □ a number of A 「いくつかのA」

2 □ lie in A 「Aにある」 (=consist in A) □ expense 「費用、出費」 □ farming 「農業」

3 but only under certain conditions = but the new kinds of grain produce much more than traditional grains only under certain conditions

□ traditional 「伝統的な」 □ certain A 「一定のA」 □ condition 「条件」

4 □ maximum 「最大の」 □ farmer 「農場経営者」

5 □ damage 「に損害を与える」 □ insect 「昆虫」

6 □ watering system 「灌漑設備」

7 □ can afford to do 「…する余裕がある」 □ equipment 「設備、装備」

第4・5段落

¹Soil erosion is another reason for the lower grain production. ²The large-scale farming of a single crop creates the perfect conditions for erosion. ³In dry areas, especially, the loss of top soil has lowered the productivity of the land. ⁴In these areas, also, grain production has been limited by lack of water. ⁵The new types of grain require much more water than the grain people used to grow.

⁶Yet another reason for lower production lies in the nature of the chemicals that farmers have used. ⁷Though these fertilizers and insecticides raise production levels at first, they must be used in increasing amounts after that. ⁸Many farmers cannot afford to buy more, and so production decreases. ⁹These chemicals have other effects that are expensive in the long run. ¹⁰They flow into the ground water, causing pollution and health problems. ¹¹As people learn about these problems, they put pressure on farmers to further limit their use of chemicals.

¹土壤浸食は穀物生産が少なくなったもう1つの理由である。²単作の大規模農業は浸食にとってうつつけの状態を作る。³特に乾燥地域では、表土の流失がその土地の生産性を下げてしまった。⁴これらの地域では、また穀物生産も水不足のために制限されている。⁵新種の穀物は人々が従来栽培していた穀物よりずっと多くの水を必要とする。

⁶生産性が低くなったさらにもう1つの理由は、農場経営者が使ってきた化学薬品の性質にある。⁷こうした肥料と殺虫剤は最初のうち生産レベルを引き上げるけれども、その後は量を増やして使用しなければならない。⁸買う量を増やす余裕がない農場経営者が多いので、生産高が減るのである。⁹こうした化学薬品には結局は高くつく他の影響がある。¹⁰それらは地下水に流れ込み、汚染や健康の問題を引き起こす。¹¹人々がこれらの問題について知ると、彼らは農場経営者に化学薬品の使用をさらに制限するよう圧力をかける。

2 single 「1つの」

3 top soil 「表土」 lower 「を下げる」 productivity 「生産性」

4 limit 「を制限する」 lack of A 「Aの不足」

5 require 「を必要とする」 much more + A 〈不可算名詞〉 「ずっと多量のA」

6 yet another A 「さらにもう1つのA」 nature 「性質」

7 raise 「を引き上げる」 at first 「最初は」 in increasing amounts 「量を増やして」

8 more は buy の目的語の名詞で、ここでは more fertilizers and insecticides のこと。

9 effect 「影響」 in the long run 「結局」

10 They は these chemicals を指す。causing は結果を表す分詞構文。

flow into A 「Aに流れ込む」 ground water 「地下水」

cause 「を引き起こす」 pollution 「公害、汚染」

11 put pressure on A to do 「…するようにAに圧力をかける」

further 「さらに」

第6・7段落

¹Finally, the Green Revolution has brought about social and political conflict that has interfered with food production. ²The problem lies in the cost of the new agricultural methods. ³Only the larger landowners can afford to make the necessary investments for maximum production of the new grains. ⁴With their profits, the large landowners then buy land from the smaller farmers. ⁵This way, the large landowners become ever richer and the number of landless poor people increases. ⁶Social tensions naturally increase in this situation.

⁷Clearly, it is time to question the methods of the Green Revolution. ⁸Governments and farmers need to look at the overall picture and long-term effects. ⁹They need to find new methods that will better meet the needs of the world's hungry people and that will also be less harmful.

¹最後に、緑の革命は食糧生産の妨げとなる社会的、政治的な衝突を引き起した。²問題は新しい農業の方法の費用にある。³より大規模な土地所有者だけが新しい穀物の最大の生産のために必要な投資をする余裕がある。⁴それからその利益で、大規模土地所有者は小規模農家から土地を買う。⁵こうして大規模土地所有者はいっそう金持ちになり、土地を持たない貧しい人の数が増える。⁶このような状況で社会的な緊張が高まるのは当然である。

⁷明らかに、緑の革命の方法を問い合わせ直す時である。⁸政府と農場経営者は全体像と長期にわたる影響に目を向ける必要がある。⁹世界の飢えた人々の要求をよりよく満たし、またそれほど有害でもない新しい方法を彼らは見つける必要がある。

1 bring A about 「Aをもたらす、引き起こす」 political 「政治的な」

conflict 「衝突」 interfere with A 「Aを妨げる」

3 landowner 「土地所有者」 investment 「投資」

4 profit 「利益」

5 ever + 比較級 「ますます…」 the number of A 「Aの数」

landless 「土地を持たない」

6 tension 「緊張」 naturally 「(文修飾で)もちろん」 situation 「状態」

7 question 「を疑う、に疑惑をさしはさむ」

8 overall 「全体の」 picture 「状況、事態」 long-term 「長期の」

4

電子メールの影響

解答

問1 エ. the way we want to

問2 電子メールが直接連絡をとる方法として受け入れられているから。(30字)

問3 視覚信号や聴覚信号がないと、話し手が自分に関して他人に知られてもかまわない情報の量が大幅に増加するのである。

問4 ア. seeing yourself

問5 我々が知っているような電子メールは高度なプライバシーを与えてくれ、次にそうしたプライバシーが隠し立てしなくなるのに役立つのである。

問6 イ. accurate and complete

▷▷ 設問解説 ◀◀

問1 コロン(:)以下の内容「人に声を聞かれたり、顔を見られたりしないで、意思を伝達することができる」から、意味を推測する。

ア.「他人の利益になるように」イ.「他人にやって欲しいやり方で」ウ.「自分の言葉で」エ.「自分が望むやり方で」

問2 下線部(2)は「電話番号ではなく、電子メールのアドレスを公表する傾向が高まりつつある」という意味。直後の文に This practice is a result of とあり、This practice とは、下線部(2)の「電子メールのアドレスを公表する」慣習のことである。したがって、the increasing acceptance 以下の内容を制限字数内でまとめればよい。

tendency to do 「…する傾向」

問3 The lack of visual and auditory signals(S) increases(V) the amount of information(O) という構造。speakers are 以下は information を修飾する関係代名詞節。「視覚信号や聴覚信号の欠如が、話し手が自分に関して他人に知られてもかまわない情報の量を大幅に増加させる」が直訳。auditory は難語ではあるが、下線部(3)が前の文の内容を一般化して述べたものであることが読み取れれば、If there is no voice to hear and no face to see から「聴覚の」という意味であることが推測できる。

lack 「欠如」 visual 「視覚の」 auditory 「聴覚の」 signal 「信号」

be willing to do 「…するのをいとわない」 let O do 「Oに…させてやる」

問4 空所(4)を含む文に述べられた研究については、第4段落第3, 4文でその方法が説明され、第5文に結果が述べられている。第5文に「鏡のある部屋にいると、個人的な情報を話さなかった」とあるので、「自分の姿が見えるとプライバシーの感覚が減少する」ことが実証されたのである。

ア.「自分の姿が見えること」イ.「自分の声が聞こえること」ウ.「他人の姿が見えること」エ.「他人の声が聞こえること」

問5 接続詞の as で導かれた節には直前の名詞を限定する働きがある。ここでは、as we know it が直前の E-mail を限定して、「我々が知っているような電子メール」という意味。which 以下は、直前の a high degree of privacy を修飾する非制限用法の関係代名詞節。また、ここで in turn は「順番に」ではなく「今度は、次に」という意味。

例 Modern life as we know it is unnatural to human beings.

「我々が知っているような現代の生活は人間にとって不自然なものである」

- allow 「を与える」 degree 「程度」 help (to) do 「…するのに役立つ」
 generate 「を生じる」 openness 「隠し立てないこと」

問6 空所(6)を含む文の文頭には Similarly 「同様に」とあるので、第3～5段落で述べられた「プライバシーが守られることによって、自分に関する情報を隠し立てしなくなる」ということが「コンピュータの役割」に関しても言えると考えられる。

ア.「不正確で偏った」イ.「正確で完全な」ウ.「公式で最近の」エ.「一般的で興味深い」

下線部と訳問題

下線部と訳問題では、まず文の構造を正確に捉えることが大切である。主語、動詞、目的語、補語といった文を構成する要素と修飾語句を正確に把握すること。次に文脈を踏まえて何を言っているのか、つまり内容を考える。基本的には文構造に忠実な訳でかまわないが、日本語として不自然な場合は自然な日本語になるように工夫する必要がある。もちろん、個々の語の訳出に関しては文内容から最もふさわしい訳語を考えなければならない。また、本問の問3のように、難語があっても、文脈を踏まえて文内容を読み取ることができれば、その意味を推測することができる。

要点

電子メールはプライバシーを保護し、顔見知りでない人と連絡をとるのにも使われている。また、プライバシーが守られることによって、自分に関する情報を隠し立てしな

くなる傾向がある。(92字)

▶ 構文・語句解説 ◀

第1段落

¹It's interesting how much e-mail affects our personal space. ²While some businesses have replaced much inter-office phone communication with e-mail, most users see e-mail as a medium that protects their private space far more than the telephone. ³E-mail gives us the freedom to communicate on our own terms: it's possible for us to communicate without allowing anyone to hear our voice or see our face.

¹電子メールが個人空間にいかに影響を及ぼすかということは興味深い。²社内電話の多くをとり止め電子メールを使うようになった企業もあるが、電子メールを使っている人はたいてい電子メールは電話よりもずっと私の空間を保護してくれる伝達手段であるとみなしている。³電子メールは自分の都合に合わせて意思を伝達する自由を与えてくれる。人に声を聞かれたり、顔を見られたりしないで、意思を伝達することができるるのである。

1 It's interesting how much ... の It は形式主語で、真主語は how much 以下。

- e-mail 「電子メール」 replace A with B 「AをBと取り替える」
 personal space 「個人空間」

2 while S V ... 「…する一方で」 see O as C 「OをCとみなす」
 medium 「伝達手段、媒体」 private space 「私の空間」
3 the freedom to do 「…する自由」 allow O to do 「Oが…するのを可能にする」

第2段落

¹While e-mail offers personal privacy, it also enables us to start a conversation with people we aren't acquainted with. ²We send e-mail to people we would rarely telephone or request to see face-to-face. ³Of course, the people we send messages to have the option to respond at their own convenience—or not at all. ⁴There is a growing tendency to make e-mail addresses, but not phone numbers, public. ⁵This practice is a result of the increasing acceptance of e-mail as a form of direct contact, even with well-known people we usually couldn't approach in person.

¹電子メールは個人のプライバシーを与えてくれる一方で、電子メールによって顔見知りでない人と話を始めることもできる。²めったに電話をしなかったり、直接会ってくれるように頼むことのないような人に電子メールを送る。³もちろん、メッセージを送った相手は、自分の都合で返信する選択の自由があるし、まったく返信しなくてもかまわないのである。⁴電話番号ではなく、電子メールのアドレスを公表する傾向が高まりつつある。⁵このような慣習は、電子メールが、普段じかに接することがないような有名人とでも、直接連絡をとる方法としてますます受け入れられるようになっている結果なのである。

1 we aren't acquainted with は people を修飾する関係代名詞節。

enable O to do 「Oが…することを可能にする」

be acquainted with A 「Aと知り合いである」

2 we would rarely telephone or request to see face-to-face は people を修飾する関係代名詞節。

rarely 「めったに…しない」 request to do 「…するように願い出る」

face-to-face 「面と向かって(の)」

3 we send messages to は the people を修飾する関係代名詞節。

not at all = have the option not to respond at all

the option to do 「…する選択の自由」 at one's own convenience 「自分の都合で」

not at all 「まったく…でない」

5 we usually couldn't approach in person は well-known people を修飾する関係代名詞節。

practice 「慣習」 the acceptance of A as B 「AをBとして受け入れること」

form 「形式」 approach 「に接する」 in person 「本人が直接に」

第3段落

¹If there is no voice to hear and no face to see, many e-mail users become very open about the information they are willing to reveal on-line. ²The lack of visual and auditory signals greatly increases the amount of information speakers are willing to let others know about themselves. ³People write things in e-mails they would not want to say in a face-to-face conversation or on the telephone.

¹耳に入る声や目に見える顔がなければ、電子メールを使う人の多くは、オンラインで明らかにしてもかまわない情報に関して隠し立てしなくなる。²視覚信号や聴覚信号がないと、話し手が自分に関して他人に知られてもかまわない情報の量が大幅に増加するのである。³人は面と向かっての会話や電話では言いたくないようなことを、電子メールには書く。

1 they are willing to reveal on-line は the information を修飾する関係代名詞節。

open 「隠し立てしない」

3 they would not 以下は、things を修飾する関係代名詞節。

第4段落

¹An important point is the degree of exposure a person perceives. ²Investigators in one study demonstrated that even seeing yourself reduces your sense of privacy. ³In the experiment, participants were asked to comment either on intimate or on non-intimate topics while sitting alone in one of two small rooms and speaking into a microphone.

⁴One room had bare walls; the other contained a large mirror. ⁵When discussing intimate topics, participants in the mirrored room were less likely to enjoy the task, had the longest times before answering questions, gave the shortest answers, and gave less intimate information than those who couldn't see themselves. ⁶Thus, the more we keep our personal details private, the more likely we are to speak our minds.

¹重要な点は、どの程度身をさらしているのか認識することである。²ある調査で、研究者は自分の姿を目にするだけでプライバシーの感覚が減少することを実証した。³その実験では、協力者が2つの小部屋の1つに一人で座り、マイクに向かって話をする際、個人的な話題か個人的ではない話題のいずれかについて意見を述べるように求められた。⁴1つの部屋の壁には何もなく、もう1つの部屋には大きな鏡があった。⁵個人的な話題について話しているとき、鏡のある部屋に入った協力者はその作業が楽しいと思う可能性は低く、質問に答えるまで最も時間がかかり、最も短く答え、自分の姿が見えない参加者と比べて、個人的な情報を話さなかつた。⁶したがって、私的な細かいことは内密にしておけばおくほど、自分の考えを率直に話す可能性が高いのである。

1 a person perceives は exposure を修飾する関係代名詞節。

exposure 「(身を)さらすこと、露出」 perceive 「を認識する、知覚する」

2 investigator 「研究者、調査者」 demonstrate 「を実証する」 reduce 「を減らす」

3 while sitting ... = while they were sitting ... experiment 「実験」

participant 「協力者、参加者」 comment on A 「Aについて意見を述べる」

intimate 「個人的な／親密な」

4 bare 「家具・装飾などのない」 contain 「を含む」

5 When discussing ... = When they were discussing ...

those who couldn't see themselves の those は the participants の代用。

- mirrored 「鏡のある」 be likely to do 「たぶん…するだろう、 …する可能性がある」
- task 「作業」
- 6 the + 比較級 + S V ..., the + 比較級 + S V ~ 「…すればするほど、 ますます～する」
- detail 「詳細」 speak one's mind 「自分の考えを率直に話す」

第5段落

¹E-mail as we know it allows a high degree of privacy, which, in turn, helps generate more openness. ²There are continuing reports from parents about e-mail communication with their children who have left home for college. ³Sons and daughters who had little to say to their parents while still in high school, who even now rarely write or phone home, commonly e-mail just to "chat."

¹我々が知っているような電子メールは高度なプライバシーを与えてくれ、次にそうしたプライバシーが隠し立てしなくなるのに役立つのである。²大学に入って実家を離れた子供との電子メールによる意思の伝達に関する親からの報告が続いている。³高校のときでも親と話すことがあまりなく、今でもめったに家に手紙を書いたり電話をかけてくることがない息子や娘が、ただ「おしゃべりをする」ために、電子メールを送るのはよくあることである。

3 who had little to say to their parents の little は名詞で、to say 以下は little を修飾する形容詞用法の不定詞句。

while still in high school=while they were still in high school chat 「おしゃべりする」

第6段落

¹Similarly, research on the role of computers has shown that people offer more accurate and complete information about themselves when answering questions using a computer than when answering the same questions on paper or through a face-to-face interview. ²The differences were especially noticeable when the information at issue was personally sensitive.

¹同様に、コンピュータの役割に関する調査では、コンピュータを使って質問に答えるときは、書面や面と向かっての面接で同じ質問に答えるときと比べて、人は自分に関するより正確で完全な情報を提供することが明らかになっている。²その違いは、問題になっている情報が個人的に微妙なものであるときには特に著しかった。

- 1 when answering ... =when they are answering ...

using a computer は answering questions と同時動作・付帯状況を表す分詞構文。

- similarly 「同様に」 research 「研究」 role 「役割」

- 2 noticeable 「著しい、目立つ」 at issue 「問題の」

- sensitive 「微妙な、取り扱いに慎重を要する」

解答

- 問1 きれいな海岸、親切な人々、そしてのんびりとした暮らし方に引かれて、1960年代中頃には、はるかヨーロッパのようなところからも訪問者がその地域に大勢やって来るようになった。
- 問2 (2a) イ. denied that economic factors and shifting tastes were to blame
 (2b) イ. produce a range of various products and services
 (2c) ア. an image of a company particularly interested in environmental issues
- 問3 観光は世界で最も規制の少ない産業の1つであるということ。(28字)
- 問4 テロリズムや飛行機の旅の安全に対する恐怖が、国外旅行への関心を当分の間は減らしてしまうかもしれない。
- 問5 地域の資源を最大限に保護する方向に活動を変えること。

▶▶ 設問解説 ◀◀

問1 Attracted by ... of life は過去分詞で始まる分詞構文である。ここでは主節に対して、理由、補足説明を述べていると考えればよい。主節は visitors(S) began (V) coming ... (O) で、主語 visitors は from as far away as Europe の前置詞句によって修飾されており、「ヨーロッパのような遠く離れたところからの訪問者」と訳出すればよい。なお、to the region は coming を修飾していることに注意。

- attract 「を引きつける、魅了する」 friendly 「親切な、友好的な」
- relaxed 「のんびりとした」 as far away as A 「Aのような遠く離れたところ」
- in large numbers 「大勢で、大挙して」 region 「地域」

- 問2 (2a) 下線部の意味は「経済的要因と観光客の好みの変化を除外した」なので、イが正解。
- ア.「経済的要因と観光客の好みの変化が主な原因であると主張した」
 イ.「経済的要因と観光客の好みの変化に原因があることを否定した」
 ウ.「経済的要因とゴミ処理が法律違反であるとわかった」
 エ.「観光客は安くおいしい食べ物を選ぶ傾向にあるとわかった」
- rule A out 「Aを除外する」 factor 「要因」 shifting 「変化する」

(2b) 下線部の意味は「経済を多様化する」なので、イが正解。

- ア.「数少ない主要な領域に集中する」
 - イ.「広範囲にわたる製品やサービスを生み出す」
 - ウ.「様々な多くの国と交易を始める」
 - エ.「経済の生産活動を厳しく管理する」
- diversify 「を多様化する」

(2c) 下線部の意味は「環境に配慮したイメージ」なので、アが正解。

- ア.「特に環境問題に关心がある企業というイメージ」
 - イ.「ある環境に設立された企業というイメージ」
 - ウ.「消費者が環境を傷つけているというイメージ」
 - エ.「買いたいものがわかっている消費者というイメージ」
- environmentally conscious 「環境を意識した」 conscious は複合語になり「…を意識した」という意味を表す。

例 class-conscious 「階級意識を持った」

問3 下線部(3)を含む文全体の意味は「このことが世界中の地域社会や文化に様々な影響を及ぼしている」である。直前の第4・5段落第3文 Tourism is ... regulated industries には「観光は世界で最も規制の少ない産業の1つである」と述べられているので、この内容が地域社会や文化に影響を及ぼしている原因であると考えられる。また、下線部を含む文の次の文には様々な影響の具体的な内容が述べられている。したがって、This は第4・5段落第3文を制限字数内にまとめればよい。

問4 全体の構造は、Fears of terrorism and the safety of air travel(S) may have lessened(V) interest in some international travel(O) である。また、and が結んでいるのが terrorism と the safety of air travel であることにも注意。Fears of terrorism と the safety of air travel を結んでいると考えると、文意が通じない。なお、for the time being が「当分の間は」という意味であることと、続く文の内容から、may have done がここでは「…してしまうかもしれない」という意味であり、よく用いられる「…したかもしれない」ではないことにも注意。

例1 By next week, they may have completed their contract.
 「来週までには彼らは契約を結んでしまうかもしれない」

例2 They may already have completed their contract.
 「彼らはすでに契約を結んでしまったかもしれない」

- fear of A 「Aへの恐怖(感)」 terrorism 「テロリズム」
- air travel 「飛行機の旅」 lessen 「を減らす」 interest in A 「Aに対する関心」

問5 下線部(5)を含む文全体の意味は「これは責任ある観光の範囲をはるかに越える根本的な変化を必要とする」である。直前の第7段落第1文には、「観光の影響が良くも悪くも広がり続けるにつれて、その地域の資源を最大限に保護する方向に活動を変えることがますます重要になる」と述べられており、「変化が必要とされること」について言及されている。また、続く第3文の「その変化について具体的にあらゆるレベルで人が関わることが必要である」は、下線部を含む文の補足説明となっている。したがって、第1文の to redirect ... the fullest をまとめればよい。

指示語 this の具体的な内容を問う問題で、this の指している部分は以下の3つである。

1. 直前の文全体および複数の文の内容

例 He got into the habit of drinking every day. This was his downfall.
「彼は毎日酒を飲むようになった。これ(=彼が毎日酒を飲むようになったこと)が彼の破滅のもとであった」

2. 直前の文の一部の内容

例 In the sixteenth century it was believed that the earth was the center of the universe. We know this is not true.
「16世紀には、地球が宇宙の中心であると信じられていた。私たちはこれ(=地球が宇宙の中心であること)が本当ではないと知っている」

3. 直後の文の内容

例 I'll say this: she's strictly honest.
「言っておくが、彼女はまったく正直だ」

指示語の内容説明問題においては、与えられた制限字数がヒントになることが多い。また、指示内容を指示語に当てはめて文脈が自然につながれば、正しいことが確認できる。

要約

インドの漁村コバラムに見られるように、近年、観光地におけるゴミ問題をはじめとした自然破壊が問題になっている。環境や文化の保護と地域経済の発展の両立を可能にする観光事業が求められている。(92字)

▷ 構文・語句解説 ◀

第1段落

¹Until recently, Kovalam, a small fishing village in India's Kerala state, could not keep up with its rising popularity. ²Attracted by clean beaches, friendly people and a relaxed way of life, visitors from as far away as Europe began coming in large numbers to the region in the mid-1960s. ³Over the next two decades, investors rushed in to meet the demand, building row upon row of new hotels, restaurants and souvenir shops. ⁴But in 1993 the tourist stream began to slow. ⁵By 2000, the number of tourists had decreased by 40 percent.

¹最近まで、インドのケララ州の小さな漁村コバラムは人気の高まりについていくことができなかった。²きれいな海岸、親切な人々、そしてのんびりとした暮らし方に引かれて、1960年代中頃には、はるかヨーロッパのようなところからも訪問者がその地域に大勢やって来るようにになった。³その後20年間にわたり、需要を満たすために投資家たちがなだれ込んで、次々と新しいホテルやレストランや土産物店を建てた。⁴しかし、1993年に観光客の流れは鈍くなり始めた。⁵2000年までは観光客の数は40%も落ち込んでいた。

1 Kovalam と a small fishing village in India's Kerala state は同格の関係。

keep up with A 「Aに遅れずについていく」

3 building row upon ... shops は連続・結果を表す分詞構文。

row upon row of ... とは次々とホテルやレストランが建てられていったことを表している。

decade 「10年間」 investor 「投資家」 rush in 「なだれ込む」

meet the demand 「需要を満たす」 row 「(人や物)の列」

souvenir shop 「土産物店」

4 stream 「流れ」

5 the number of A 「Aの数」 by A 「Aだけ、Aの分」 差を表す。

第2・3段落

¹Travel experts ruled out economic factors and shifting tourist tastes, finally explaining the decline as one caused by the community's waste management problems. ²Like many popular destinations in the developing world, Kovalam has no formal plan to deal with the growing levels of garbage generated by tourists. ³Hotels and other facilities collect recyclable items, such as glass, paper and metal scraps, for reuse by local industries whenever possible. ⁴The less desirable items—plastic bottles and even uneaten food, for

example – simply pile up in towering mounds or are dumped into nearby streams, posing the risk of serious disease.

Yet, a local politician complained, "Nobody bothers about the health issues faced by people. ⁶Everybody wants Kovalam beach to be clean just so it can get more business."

¹旅行関係の専門家は、経済的要因や観光客の好みの変化を除外し、その低迷は村のゴミ処理問題によるものだと最終的に説明した。²発展途上諸国の人気のある観光地と同様に、コバラムは観光客の出でんどん増えるゴミを処理するきちんとした計画を持っていない。³ホテルやその他の施設は、ガラス、紙、金属くずなどのリサイクル可能なものを地域の産業が再使用できるときは集めている。⁴たとえばペットボトルや食べ残しのようなそれほど歓迎されないものは、ただ山のように積み上げられるか近くの川に投棄され、深刻な病気が発生する危険が生じている。

⁵しかし、地元の政治家が不満を述べた。「人々が直面している健康の問題などには誰も関心を持っていません。⁶みんなもっと商売になるようにコバラムの海岸がきれいになってほしいだけなのです」

- 1 finally explaining ... management problems は分詞構文。caused by 以下は one を修飾する過去分詞句で、one は a decline の代用。 expert 「専門家」 explain 「を説明する」
 decline 「低迷、衰退」 cause 「を引き起こす」 community 「地域社会」
 waste 「ゴミ、廃棄物」 management 「管理」
- 2 destination 「目的地」 formal 「正式な」 deal with A 「Aを処理する」
 garbage 「ゴミ」 generate 「を生み出す」
- 3 facilities 「施設」 recyclable 「再利用できる、リサイクルできる」 item 「品目」
 metal scrap 「金属くず」 reuse 「再利用」 local 「地元の」 industry 「産業」
 whenever possible 「可能なときはいつでも」
- 4 posing the ... serious disease は連続・結果を表す分詞構文。 desirable 「望ましい」
 pile up 「積み重なる」 towering 「高くそびえる」 mound 「小山」
 dump 「を捨てる」 nearby 「近くの」 pose 「を引き起こす」
- 5 bother about A 「Aを心配する」 issue 「問題」 face 「に直面する」
- 6 just so it can get more business は so that S can do 「Sが…するために」という目的を表す構文を用いたもので、that が省略されている。なお、just は so 以下を強調している。

第4・5段落

¹These problems are not unique to Kovalam. ²Increasingly, developing countries are turning to tourism as a way to diversify their economies, stimulate investments and create earnings.

³Tourism is one of the world's least regulated industries. ⁴This has implications for communities and cultures around the world. ⁵Hotels, tourist transport and related activities consume huge amounts of energy, water and other resources; and they produce pollution, often in destinations that are unprepared to deal with these impacts. ⁶In addition, many communities face cultural troubles and other unwelcome changes that accompany higher visitor numbers. ⁷Fears of terrorism and the safety of air travel may have lessened interest in some international travel for the time being. ⁸However, over the long term the demand for tourism is expected to resume its steady rise.

¹これらの問題はコバラムだけのものではない。²発展途上国は経済を多様化し、投資を刺激し、利益を創出する手段としてますます観光事業に目を向けている。

³観光事業は世界で最も規制の少ない産業の1つである。⁴このことが世界中の地域社会や文化に様々な影響を及ぼしている。⁵ホテルや観光客輸送や関連活動は膨大な量のエネルギー、水、その他の資源を消費する。そしてこれらの活動はこうした影響に対処する用意の整っていない場所でしばしば公害を引き起こす。⁶そのうえ、多くの共同体が観光客が増えるのに伴って起こる文化的な問題やその他の歓迎されない変化に直面する。⁷テロリズムや飛行機の旅の安全に対する恐怖が、国外旅行への関心を当分の間は減らしてしまうかもしれない。⁸しかし、長期的には観光客の需要は再び安定した増加を始めると予想されている。

- 1 unique to A 「Aに特異な、独特な」
2 increasingly 「ますます」 turn to A 「Aに目を向ける」 tourism 「観光事業」
 stimulate 「を刺激する」 investment 「投資」 earnings 「(企業の)利益、事業所得」
- 3 regulated 「規制された」
4 implication 「影響」
- 5 transport 「輸送」 related 「関連した」 consume 「を消費する」
 resources 「資源」 pollution 「公害、汚染」
 be unprepared to do 「…する用意ができていない」 impact 「影響」
- 6 in addition 「そのうえ」 accompany 「に伴って起こる」
- 8 term 「期間」 be expected to do 「…すると予想されている」 resume 「を始める」

第6段落

¹Many governments, industry groups and others are promoting responsible travel that makes money and creates jobs while also protecting the local environments and cultures. ²While it does succeed in some circumstances, this kind of environmentally responsible tourism can produce many of the same problems as ordinary tourism, including the creation of waste. ³In some cases it is little more than a marketing tool for businesses hoping to promote an environmentally conscious image.

¹多くの政府、業界団体などは、お金が儲かり仕事も創出する一方で、その地域の環境や文化を保護する、責任ある旅行を促進している。²ある状況ではうまくいっても、このような環境に責任を持つ観光もふつうの観光と同じように、ゴミの産出も含めて多くの問題を生む可能性がある。³環境意識が高いというイメージを売り込みたい企業にとっては、それはマーケティング手段くらいのものでしがない場合もある。

1 that makes ... and cultures は responsible travel を修飾する関係代名詞節。while は対比を表し、while の後には it is が省略されている。

industry group 「業界団体」 promote 「を促進する」 responsible 「責任のある」

2 does succeed の does は動詞強調の助動詞。

can produce ... の can は可能性を表し、「…することもある」の意味。

circumstance 「状況」 including A 「Aを含めて」

3 it は this kind of environmentally responsible tourism を指している。

little more than A 「Aにすぎない、Aと大差ない」

第7段落

¹As tourism's impacts, both good and bad, continue to spread, it is more and more important to redirect activities onto a path that protects local resources to the fullest. ²This will require deep changes that reach far beyond the scope of responsible tourism. ³A broad range of people and organizations, including executives at large companies, governments, nongovernmental groups and the tourists themselves, will need to become involved with the efforts to protect and maintain, at all levels, the environment and culture of the various places to which tourists go.

¹観光の影響が良くも悪くも広がり続けるにつれて、その地域の資源を最大限に保護する方向に活動を変えることがますます重要になる。²これは責任ある観光の範囲をはるかに越える根本的な変化を必要とする。³大企業の経営陣、政府、非政府組織そして観光客自身を含む広範な人材と組織が、観光客が訪れるさまざまな土地の環境や文化をあらゆるレベルで守り維持する努力に関わることが必要である。

1 both good and bad は tourism's impacts を補足説明している。 spread 「広がる」

redirect 「の方向を変える」 to the fullest 「最大限に」

2 beyond A 「A(の範囲)を越えて」 scope 「範囲」

3 the environment and culture は protect と maintain の共通の目的語である。

to which tourists go は the various places を修飾する関係代名詞節。

range 「範囲」

executive 「(企業などの)経営者[陣]、重役」 nongovernmental 「非政府の、民間の」

become involved with A 「Aに関わるようになる」 effort to do 「…しようとする努力」

6

視覚と認識

解答

- 問1 私たちは、目が教えてくれるものがいったい何なのか、ほんとうにそんなに確信が持てるのだろうか。
- 問2 if we had not read what astronomers tell us
- 問3 結局のところ、私たちは、見るものを信じるというよりはむしろ、信じるものを見るのである。
- 問4 brain
- 問5 the images
- 問6 脳が学習したことはどのように私たちが「物を見る」と呼ぶ過程に影響しているのかを示す例を、あといいくつか挙げてみたい。
- 問7 (7a) ウ. near (7b) エ. further away (7c) ア. large
(7d) イ. tiny
- 問8 size

▷ 設問解説 ◀

問1 文全体は、*be sure wh*-節「〈否定文・疑問文で〉…について確信している」の*wh*-節に *what it is that ...* という疑問詞 *what* を強調する強調構文の間接疑問が入った形。*what it is that ...* は「…はいったい何なのか」と訳出するとよい。なお、*what* は *tell O₁ O₂* 「O₁〈人〉に O₂〈事〉を話す」の O₂ に当たる。

例 What is it that my daughter wants for her birthday?

「娘が誕生日に欲しがっているのはいったい何だろう」

問2 文頭の *Could* と選択肢の *if* から、全体が仮定法の文で、下線部がその条件節となっていることが予想できる。条件節内の主語としては *astronomers*, *we* または *what* 節が考えられるが、この文の主節および第1段落からの意味の流れから、*we* を主語にして *had not read* を述語とし、関係代名詞 *what* が導く節を目的語として、「もし私たちが天文学者が私たちに教えてくれるものを見たことがなければ」という意味にすれば、主節が表す意味にも自然につながる。なお、条件節が仮定法過去完了、帰結節が仮定法過去になっていることに注意。

astronomer 「天文学者」 *tell A about B* 「AにBのことを教える」

問3 全体の文構造は *What it amounts to(S) is(V) that ... (C)* であり、「結局のところ、…だ」という意味の慣用表現である。*that* 以下には *not so much X as Y* 「XというよりむしろY」の表現が用いられており、X が *believe what we see*, Y が *see what we believe* となっている。なお、この下線部の *what* は、いずれも関係代名詞であることに注意。

問4 空所(4)を含む文は「見ることは目の活動であるばかりではなく(4)の活動でもあり、それは一種の選択機械として機能している」という意味。第3段落全体が「脳が網膜上の像をどのように処理するか」を説明していることから空所(4)に *brain* を入れると、自然な文意になる。

問5 下線部(5)を含む文全体は *choose A out of B* 「BからAを選ぶ」の *out of B* が文頭に出て、Aに当たる *those that ... past experience* の前に *for recognition* 「認識のために」という前置詞句が挿入された形になっている。したがって、文全体は「脳に提示されるすべての像の中から、過去の経験によって学習した世界に最もよく合う *those* を脳は認識のために選ぶのである」という意味になる。「すべての像の中から *those* を選ぶ」という関係に注目すれば、*those* が「像」を指すことがわかる。

問6 *to show ...* は *examples* を修飾する形容詞用法の不定詞句。*show* の目的語は *how*以下の疑問詞節で、その節内は *what the brain has learned(S) influences(V) the process we call "seeing things"(O)* という構造になっている。*we call "seeing things"* は *the process* を修飾する関係代名詞節。

influence 「に影響を与える」 *process* 「過程、プロセス」

問7 第4段落では「物が何も置かれていない廊下に白い紙やトランプを置き、のぞき穴を通して見た結果、その距離や大きさを当てる」という設定の中で、その紙やトランプに関する情報を言葉で伝えられると、脳が学習したことによる影響されて答えが左右される様子が述べられている。

(7a)(7b)白い紙が「名刺」であると教えられる場合と、「大きな封筒」であると教えられる場合、紙が同じ大きさに見える限り、名刺の場合なら「近くにある(near)」ように思えるはずであり、大きな封筒の場合には「より遠くにある(further away)」ように思えるはずである。

(7c)(7d)トランプを見せられる場合、トランプの大きさはたいていの場合同じであるという思い込みがあるため、「大きな(large)トランプ」を見せられると近くにあるように思えるはずであり、「小さな(tiny)トランプ」を見せられると遠くにあるように思えるはずである。

ア.「大きい」 イ.「小さい」 ウ.「近い」 エ.「より遠い」

問8 「物の『大きさ』を目だけからの情報ではなく、その物に関するさまざまな情報

を総合して脳が判断している」という第4段落全体の内容から、空所には size を入れるのが自然である。

Guides 内容説明問題の指標語 用語

指示語 that は、this 同様、直前の文および複数の文の内容や前の文の一部の内容を指す。ただし、this とは異なり直後の文の内容を指すことはない。また、前述の名詞の反復を避けるために、the + 名詞の代用となり、修飾語を伴って用いられる。なお、the + 複数形の名詞の代用となる場合は those が用いられる。

例 1 The climate of Japan is milder than that of England.

「日本の気候はイギリスのそれ(=気候)よりも温暖である」

例 2 The mountains of Greece are less thickly wooded than those of England.

「ギリシアの山はイギリスのそれ(=山)より木が少ない」

要約

自分の目で見たものは確かに、信じている人が多いが、実際には、脳が学習した情報や周囲の状況から得られる情報が物の見え方に多大な影響を与えていているのである。(76字)

▷ 構文・語句解説 ◀

第1段落

¹How often do we say “Of course I believe it—I saw it with my own eyes!” ²But can we really be so sure what it is that our eyes tell us? ³For example, take the simple question, “How big is the moon?”

¹私たちはどれくらい頻繁に「もちろんそれを信じているよ。自分の目で見たんだから!」と言うことだろう。²しかし、私たちは、目が教えてくれるもののがいったい何なのか、ほんとうにそんなに確信が持てるのだろうか。³たとえば、「月はどれくらいの大きさか」という単純な質問を取り上げてみよう。

1 how often … 「どれくらいの頻度で…」

3 take 「を例として取り上げる」

第2段落

¹Could any of us make a good estimate of the moon’s size if we had not read what astronomers tell us about its diameter? ²What does looking at the moon, or any other object, tell us about its real size? ³What do we mean by “real” size or “real” shape, or other appearance, for that matter? ⁴Can we believe what we see of things; or rather, putting it the other way round, what do we mean when we say we believe that a thing has a certain size or shape?

¹月の直径について天文学者が教えてくれることを読んだことがなければ、私たちのうちの誰が月の大きさに関して適切な推測を行うことができるであろうか。²月、あるいは他のどんな物であれ、それを目にすることで、そのほんとうの大きさについて何がわかるのだろうか。³もっと言えば、「ほんとうの」大きさや「ほんとうの」形、あるいはその他の目に映るものというとき、私たちは何を言おうとしているのだろう。⁴私たちは物に関して目にするものを信じることができるのだろうか? というよりは、逆に言えば、ある物がある大きさや形を持っていると信じると言うときに、私たちは何を言おうとしているのだろう。

1 make a good estimate of A 「Aに関して適切な推測を行う」 diameter 「直径」

2 動名詞句 looking at the moon, or any other object が主語となっている。 object 「物」

3 mean A by B 「Bという表現でAを意味する」 appearance 「外見、見かけ」

for that matter 「もっと言えば、さらに詳しく言えば」

4 putting it the other way round 「逆に言えば」は慣用的な分詞構文。

or rather 「〈前言を言い直して〉もっと正確に言えば、というよりはむしろ」

certain A 「ある A」

第3段落

¹The brain interprets the image on the retina in the light of all sorts of other “information” it receives. ²Perception, in fact, is by no means a simple recording of the details of the world seen outside. ³It is a selection of those features with which we are familiar. ⁴What it amounts to is that we do not so much believe what we see as see what we believe. ⁵Seeing is an activity not only of our eyes but of the brain, which works as a sort of selecting machine. ⁶Out of all the images presented to it it chooses for recognition those that fit most closely with the world learned by past experience.

¹脳は網膜上の像を、脳が受け取るあらゆる種類の他の「情報」に照らし合わせて解釈する。²実は、知覚とは外に見える世界の細部を単に記録することでは決してない。³それは私たちがよく知っている特徴を選択することなのである。⁴結局のところ、私たちは、見るものを信じるというよりはむしろ、信じるものを見るのである。⁵見ることは目の活動であるばかりでなく脳の活動でもあり、脳は一種の選択機械として機能している。⁶脳に提示されるすべての像の中から、過去の経験によって学習した世界に最もよく合うものを脳は認識のために選ぶのである。

1 it receives は other “information” を修飾する関係代名詞節。 interpret 「を解釈する」

image 「像、映像」 in (the) light of A 「Aに照らし合わせて、Aを考慮して」

sort 「種類」

2 perception 「知覚」 in fact 「実際、実は」 by no means 「決して…でない」

recording 「記録すること」 detail 「細部、詳細」

3 those は with which 以下の関係代名詞節が修飾する語を明示している。 selection 「選択」

feature 「特徴」 be familiar with A 「Aをよく知っている、Aに詳しい」

5 not only X but Y 「XだけでなくYも」 work as A 「Aとして機能する」

selecting machine 「選択するための機械」

6 present A to B 「AをBに提示する」 recognition 「認識」

fit with A 「Aに一致する、合う」 closely 「ぴったりと」

第4段落

I want to give a few more examples to show how what the brain has learned influences the process we call “seeing things.” ²Seeing, they say, is believing. ³But is it? ⁴An arrangement can be made in such a way that a person looks through a peephole into a bare corridor, so bare that it gives no clues about distance. ⁵If you now show him a piece of white paper in the corridor and ask how large it is, his reply will be influenced by any suggestion you make as to what the piece of paper may be. ⁶If you tell him that the particular piece of paper is a business card, he will say that it is quite near. ⁷Show him the piece of paper at the same distance and tell him that it is a large envelope, and he will say that it is further away. ⁸On the other hand, if you show a very large playing card, say a Queen of Spades, he will say that it is very close, and if you show a tiny one he will say it is a long way away, because, you see, playing cards are nearly always of a standard size. ⁹In fact, the size of things we perceive depends upon what we otherwise know about them. ¹⁰When we see a car from far away, its image on the retina is no

bigger than that of a toy seen near, but we take the surroundings into consideration and give its proper size.

¹脳が学習したことはどうのように私たちが「物を見る」と呼ぶ過程に影響しているのかを示す例を、あといくつか挙げてみたい。²見ることは信じることだと言われている。³しかし、そうなのだろうか?⁴物が置かれていないので距離に関する手がかりがまったく得られない廊下を、のぞき穴を通して見ることができるように準備することができる。⁵もし廊下に1枚の白い紙を置いて見せ、どれくらいの大きさかを尋ねると、その答えは紙が何であるかについて与えられるいかなるヒントにも影響を受けるだろう。⁶もし特定の紙が名刺であると言えば、かなり近くにある、と言うであろう。⁷同じ距離にその紙を置いて見せ、それは大きな封筒だとすると、それはもっと遠くにある、と言うだろう。⁸一方、とても大きなトランプを、仮にスペードのクイーンを見せると、とても近いところにあると言うだろうし、とても小さなトランプを見せると、遠くにあると言うであろう。というのは、知っての通りトランプはほとんどいつでも標準的なサイズだからである。⁹実際、私たちが知覚する物の大きさは、他の点で私たちがそれらに関して知っていることに左右される。¹⁰遠くから来る車を見ると、網膜上のその像は近くに見えるおもちゃほどの大きさしかないので、私たちは周りの状況を考慮に入れてその正しい大きさを判断するのである。

2 Seeing, they say, is believing. =They say that seeing is believing. Seeing is believing. は通例「百聞は一見にしかず」という意味のことわざ。

4 so bare 以下は a bare corridor を補足説明している。so ... that ～は「～するほど…／あまりに…なので～」という意味。 make an arrangement 「準備をする、手配する」

in such a way that 節 「…するように」

look through A into B 「Aを通してBの中を見る」 peephole 「のぞき穴」

bare 「(場所などに)物がない」 corridor 「廊下」 clue 「手がかり、ヒント」

distance 「距離」

5 you make ... may be は any suggestion を修飾する関係代名詞節。

suggestion 「ほのめかし、ヒント」 as to A 「Aに関して」

6 business card 「名刺」

7 命令文, and S V ... 「～しなさい、そうすれば…」の表現で, Show him ... same distance と tell him ... large envelope が and で結ばれている。 envelope 「封筒」

8 on the other hand 「ところが一方」 playing card 「トランプ」 say 「たとえば」

close 「近い」 a long way away 「遠く離れて」

you see 「知ってるのとおり、おわかりでしょうが」 be of a ... size 「…な大きさである」

standard 「標準的な」

9 we perceive は things を修飾する関係代名詞節。 perceive 「を知覚する」

depend upon A 「Aに左右される, A次第である」 otherwise 「その他の点で」

10 that は the image の代用。 from far away 「遠くから」

no bigger than A 「Aの大きさにすぎない, Aと同じほど小さい」

take A into consideration 「Aを考慮に入れる」 surroundings 「周囲の状況, 環境」

proper 「正しい」



エイズの治療薬

解 答

問1 高額の医療費がかかる重い病気になった場合、支払う余裕はないということ。(35字)

問2 ウ

問3 原価が200ドルのものを10,000ドルで売ることをどうして正当化することができるのでしょうか。

問4 海外で開発された薬を複製して地元の市場に投入することは、会社が異なる製法を使うことを証明できる限り、インドでは合法的である。

問5 イ. regardless of

問6 エ. sustains

問7 インドが世界貿易機関の知的財産条約を批准すること。(25字)

▶▶ 設問解説 ◀◀

問1 下線部(1)を含む But for ... the case は「しかし、何百万もの人にとっては、実情はその反対である」という意味。文頭の But に着目すると、その前後には逆接の内容がこななければならない。第1段落には「ハミエド氏が高額な医療費を要するような重病にかかった場合、彼にはその医療費が払える」ことが述べられている。したがって、「その反対」とは、「高額な医療費を要するような重病にかかった場合、その医療費が払えないということ」だとわかる。この内容を制限字数内にまとめる。

opposite 「正反対のこと」 be the case 「実情である」

問2 「ハミエド氏のしたすばらしいこと」については、第1・2段落第5文以降に述べられている。

ア. 第3段落第1文の内容に一致。

イ. 第1・2段落第5文および第3段落第6, 7文の内容に一致。

ウ. ハミエド氏が抗エイズ薬の特許を申請するということは、本文のどこにも述べられていないので不一致。

エ. 第1・2段落第5文の内容に一致。

問3 修辞疑問文の訳出がポイント。修辞疑問文は疑問文の形をしているが、相手に答えを求める目的とはせず、自分の考えを強調することを目的とした表

現であり、肯定形の修辞疑問文は否定的内容を、否定形の修辞疑問文は肯定的内容を表している。したがって、How can you do ... ?は「どうして…できようか」が逐語訳であるが、「どうしても…できない」と訳出してもよい。selling 以下は justify の目的語となる動名詞句。that costs \$200 は something を修飾する関係代名詞節であり、for \$10,000 は sell A for B 「A〈物〉をB〈価格〉で売る」の for B に当たるものであることに注意。

justify 「を正当化する」

問4 形式主語構文で、真主語は to copy ... local market である。copy a medicine designed abroad と put it on the local market の2つの動詞句を and が結んでおり、designed abroad は medicine を修飾する過去分詞句。なお、as long as S V ... 「…する限り」は、主節 it's legal ... を修飾する副詞節である。they use 以下は prove の目的語となる名詞節である。

legal 「合法な」 copy 「を複製する、複写する」

design 「を設計する、計画する」 abroad 「海外で」 local 「地元の」

market 「市場」 prove 「を証明する」 manufacturing 「製造の」

process 「方法、過程」

問5 空所(5)の直前の意味は「ハミエド氏は患者が治療を受けなくてはならない時だと言った」である。第3段落第5文には「特許を保持する国々の研究や開発費用の回収」について述べられ、空所の後に「ハミエド氏が安くエイズ混合薬を売ることを申し出た」とあることから、「特許の問題に関係なく」とすれば意味が自然につながる。したがって、イが正解。

ア.「…のために」 イ.「…には関係なく」 ウ.「…のおかげで」 エ.「…によれば／…に従って」

問6 空所(6)を含む文のコロン(:)以下の構造は、the anti-AIDS cocktail he sells が主語、lives が目的語、while 以下が副詞節である。なお、he sells は the anti-AIDS cocktail を修飾する関係代名詞節。while の後には it (=the anti-AIDS cocktail) is が省略されており、「彼が販売する抗エイズ混合薬は彼自身の高い生活水準を維持しながら、人命を(6)」という意味である。コロンの前には「ハミエド氏はよいことをすることによってうまくいく」という証拠だとあるので、「高い生活水準を維持する=うまくいく」「人命を(6)=よいことをする」となるように入る。

ア.「を失う」 イ.「を奪う」 ウ.「を釈放する」 エ.「を維持する」

問7 下線部(7)を含む第4段落第4文の前半は「ハミエド氏は、そのようなことによって、国民は暴利をむさぼる製薬会社に対してどうすることもできなくなってしまう」と言っている」という意味。したがって、どのようなことになればイ

ンドの国民がどうすることもできない状態になるのかを考えればよい。第3段落には特許の問題を無視してハミエド氏が抗エイズ薬を廉価販売したことが述べられているが、これは第3段落第2文に述べられているようにインドでは特許に関する法律が厳しくないために可能なことである。したがって、インドが特許に関する法律を厳しくすれば国民がつらい状況に置かれる、という流れを押さえること。直接的には that は直前の if 節内の内容を指している。

【A和Bの内容説明問題】 Part 2 Reading Comprehension / The Story

特に2つのものを挙げてその対比および比較を軸に論旨が展開する場合、the opposite 「正反対のこと」や the same 「同じこと」の内容を問う問題が出題されることが多い。このような問題の場合、対比・比較されているものが何であるのかを押さえた上で、前に述べられた内容から「正反対のこと」あるいは「同じこと」が何であるのかを考える必要がある。本問の問1では、「高額の医療費が払える」ハミエド氏について第1段落で述べたうえで、その対比となる「(何百万の人にとって)正反対のこと」とは何なのかを問うている。

要約

インドのハミエド氏は抗エイズ薬を廉価販売することで、利益を優先する製薬会社に問題を提起した。特許などハミエド氏が直面する問題は多いが、彼は貧しい人々のため製薬業界との戦いを続けるつもりである。(100字)

▷ 構文・語句解説 ◁

第1・2段落

¹If Yusuf K. Hamied came down with a grave illness requiring expensive medical treatment, he could afford it. ²Hamied controls the third largest pharmaceutical company in India and owns acres of invaluable real estate in Bombay. ³“God has been kind,” he says.

⁴But for millions of people the opposite is the case, and 19 months ago Hamied did something remarkable for them. ⁵At a European Commission medical meeting in Brussels, he expressed the conviction that no companies should be allowed an oligopoly on life-saving drugs and then proceeded to destroy one of the most outrageous of them all by offering to sell anti-AIDS drugs at a small percentage of the going price. ⁶As a result, developing countries are starting to get the drug cocktail that has saved thousands of lives.

⁷“We have an epidemic on our hands,” insists Hamied. ⁸“How can you justify selling something that costs \$200 for \$10,000?”

¹もしユサフ・K・ハミエド氏が高額な医療費が必要な重病にかかったとしても、彼はその費用を払う余裕があるだろう。²ハミエド氏はインドで3番目に大きな製薬会社を統括し、ポンペイの地に何エーカーという計り知れないほどの価値がある不動産を所有している。³「神はこれまでやさしかかったのです」と彼は言っている。

⁴しかし、何百万もの人にとっては、実情はその反対である。そして、19ヶ月前にハミエド氏は彼らのためにすばらしいことをした。⁵ブリュッセルで開かれた欧州委員会の医療会議において、どの会社にも命を救う薬品の寡占は許されるべきではないという考えを表明して、抗エイズ薬を現行価格の数パーセントで販売することを申し出ることによって、薬の中で著しく高い薬の1つを崩しにかかったのだった。⁶その結果、何千人の命を救った混合薬を発展途上国が手に入れようとしている。⁷「私たちは伝染病に直面しているのです」とハミエド氏は主張する。⁸「原価が200ドルのものを10,000ドルで売ることをどうして正当化することができるのでしょうか」

1 If Yusuf K. Hamied came ... , he could afford it は仮定法過去。

come down with A 「A〈病気〉にかかる」 grave 「重大な」

medical treatment 「治療」 afford 「持つ余裕がある」

2 acre 「エーカー」 面積の単位で約4,047m² invaluable 「計り知れないほど貴重な」

real estate 「不動産」

4 millions of A 「何百万ものA」

5 that no ... life-saving drugs は conviction と同格の名詞節。

European Commission 「欧州委員会」 medical 「医学の」

conviction 「信念、確信」 allow O₁ O₂ 「O₁にO₂を許す」 life-saving 「命を救う」

proceed to do 「次に…し始める」 outrageous 「著しく常軌を逸した、非道の」

offer to do 「…することを申し出る」 anti-AIDS drug 「抗エイズ薬」

going 「現行の」

6 developing country 「発展途上国」 drug cocktail 「混合薬」

thousands of A 「何千ものA」

7 have A on one's hands 「Aに直面している」 epidemic 「伝染病」

insist 「…と主張する」

第3段落

¹What Hamied did was to cut through the selfish arguments of Western drug companies that put shareholders' interests before the lives of millions. ²Indian pharmaceutical companies, including Hamied's Cipla, have an advantage: it's legal in India to copy a

medicine designed abroad and put it on the local market, as long as the companies can prove they use a different manufacturing process. ³But they can't export to countries with stricter patent laws. ⁴When Hamied went to Brussels in 2000, a year's treatment with AIDS cocktail cost a patient \$10,000 to \$12,000. ⁵Western countries holding the patents insisted they had to earn back their original research and development expenses. ⁶Hamied said it was time the victims got treatment regardless of the patent issues and offered to sell his cocktail for \$800 to \$1,000 per year. ⁷A few weeks later he lowered that price to \$600 for government purchases. ⁸Today, Thailand and Brazil have begun manufacturing and selling the AIDS cocktail. ⁹Last month, Cipla won World Health Organization approval to market the AIDS drug wherever local governments agree to allow its sale.

¹ハミエド氏が行ったことは、何百万もの生命よりも株主の利益を優先する西洋の薬品会社の利己的な主張を切り抜けることであった。²インドの製薬会社にはハミエド氏の経営するシプラ社を含めて利点がある。海外で開発された薬を複製して地元の市場に投入することは、会社が異なる製法を使うことを証明できる限り、インドでは合法的である。³しかし、それらはより厳しい特許法のある国には輸出できない。⁴ハミエド氏が2000年にブリュッセルに出かけたとき、エイズ混合薬を使った治療は1年で患者1人につき10,000ドルから12,000ドルの負担になった。⁵特許を保持する西欧の国々は当初の研究や開発費用を回収せねばならないと主張した。⁶ハミエド氏は特許の問題に関わらず患者が治療を受けなくてはならない時だと言い、1年間に800から1,000ドルで自社の混合薬を売ることを申し出たのだった。⁷数週間後、彼は国が購入するということで、その価格を600ドルまで下げた。⁸今日、タイやブラジルでもエイズ混合薬の製造と販売が始まっている。⁹先月シプラ社は、現地の政府が販売を認める許可を出すところならどこでもエイズ薬を市場に出せる、という世界保健機関の認可を勝ち得た。

1 What Hamied did は was の主語となる関係代名詞節。

cut through the selfish arguments ... の cut through は「刃物で切り開く」が逐語訳であるが、ここでは「西洋の薬品会社の利己的な主張は誤りであると論破する」という意味合いで用いられている。

selfish 「利己的な」 argument 「主張、議論」 interest 「利益」

2 including A 「Aを含めて」

3 with stricter patent laws は countries を修飾する前置詞句。

export 「輸出する」 strict 「厳しい」 patent 「特許」

4 cost O₁ O₂ 「O₁（人）にO₂（費用）がかかる」

5 earn A back 「Aの費用を回収する」 original 「最初の」 research 「研究」

- expense 「費用」

6 □ it is time S *did* 「S は…してもよい頃だ」 □ victim 「患者」 □ issue 「問題」

□ per A 「Aにつき」

7 □ lower 「を下げる」 □ purchase 「購入」

8 □ manufacture 「を製造する」

9 wherever 以下は market the AIDS drug を修飾する副詞節。

□ World Health Organization 「世界保健機関」 □ approval to *do* 「…する承認」

□ market 「を市場に出す」 □ agree to *do* 「…することに同意する」

第4段落

¹Hamied is proof you can do well by doing good: the anti-AIDS cocktail he sells sustains lives while helping maintain his own high standard of living. ²Hamied, who earned his doctorate in chemistry from the University of Cambridge, considers the AIDS battle part of a broader campaign to maintain India's loose patent regime. ³India's patent laws are supposed to meet World Trade Organization standards if the country ratifies the WTO's intellectual property treaty. ⁴Hamied says that could make his people very helpless against profiteering drug companies and India has an estimated 4 million HIV-positive cases. ⁵Hamied has the fight of his life ahead on his own turf.

ハミエド氏はよいことをすることによってうまくいくという証拠である。彼が販売する抗エイズ混合薬は人命を維持する一方で、彼自身の高い生活水準を維持するのに役立っている。²ハミエド氏はケンブリッジ大学から化学博士の学位を得たが、エイズとの戦いをインドの甘い特許体制を維持する幅広い運動だと考えている。³インドの特許法は、インドが世界貿易機関の知的財産条約を批准すれば、世界貿易機関の水準を満たすはずである。⁴ハミエド氏によれば、そのようなことになれば国民は暴利をむさぼる製薬会社に対してどうすることもできなくなるであろう。だがインドには推定400万の陽性のヒト免疫不全ウィルスの症例者がいるのである。⁵ハミエド氏はインドで生涯にわたって戦っていかなければならぬのだ。

1 proof の後には同格の名詞節を導く that が省略されている。he sells は the anti-AIDS cocktail を修飾する関係代名詞節。while は対比を表し「ところが一方」の意味。

proof 「証拠」 do well 「成功する」 do good 「よいことをする」

sustain 「…を維持する」 help do 「…するのに役立つ」 maintain 「を維持する」

standard of living 「生活水準」

2 earn 「を得る、獲得する」 doctorate 「博士号」 chemistry 「化学」

- broad 「広い」 campaign to do 「…する運動」 loose 「厳しくない、ゆるんだ」
 - regime 「体制」

3 be supposed to do 「…することになっている」 meet 「を満たす」 (=satisfy)

 - World Trade Organization 「世界貿易機関」 standard 「基準」
 - ratify 「を批准する」 intellectual property treaty 「知的財産条約」

4 Hamied says ... と India has ... が and で結ばれている。

 - estimated 「推定の、およそ」 HIV-positive 「陽性のヒト免疫不全ウィルス」
 - case 「症例、患者」

5 turf は「領土、縄張り」という意味で、on his(=Hamied's) own turf とは「インドで」ということ。

 - ahead 「前に、前途に」

名前の持つ魔力

解 答

問1 ウ. concealed

問2 昔から、病気がちの子供の名前は、その子供を苦しめている靈がだまされてその子を1人に放っておいてくれるように、変えられている。

問3 イ. responsibility

問4 Bill または bill

問5 何かをヘビと呼ぶと、その物がヘビのように振る舞って人を噛むことがある、と信じられているから。(46字)

問6 イ

▶ 設問解説 ◀

問1 空所(1)を含む文は、第1段落第1, 2文の「人の名前には魔力が備わっている」という内容の具体例を述べている。直後の to prevent 以下に「その名を使うことを通じてその子が魔力に影響されるのを防ぐため」と述べられていることから、「子供の名前は隠されている」と考えるのが最も自然。したがって、正解はウ。

ア.「採用される」 イ.「呼ばれる」 ウ.「隠される」 エ.「暴露される」

問2 so that S will do で「S が…するために、…するように」という目的を表す構文。so that 節の中では the spirits が主語で、tormenting it は the spirits を修飾する現在分詞句。また、be deceived と leave the child alone が and で結ばれている。

sickly 「病気がちの、病弱な」 traditionally 「伝統的に、従来から」
 spirit 「靈、靈魂」 torment 「を苦しめる」 deceive 「をだます」
 leave O alone 「O を1人にしておく」

問3 空所(3)を含む文の前の文で「しかし、この名前の交換には責任の交換も伴っていた」と述べられていることから、空所には「責任」を表す語を入れるのが最も自然。したがって、正解はイ。

ア.「関連」 イ.「責任」 ウ.「親しさ」 エ.「優越」

問4 最初の空所から、英語圏で人名として使われる名詞であることがわかる。さらに、「電力会社からの(4)」「国会を通過する前の(4)」および「鳥の

(4)」の空所に入れて意味の通る表現を作ることのできる多義語を考える。名詞 bill には「請求書／法案／(鳥の)くちはし」の意味があり、また Bill と大文字で始めれば人名にもなることから、正解は Bill または bill である。

問5 後ろに続く2文がこの文に関する補足説明となっていることを読み取り、その2文めの It is ... bite you. の内容を制限字数に留意してまとめる。

acceptable 「受け入れ可能な、容認できる」 call O C 「OをCと呼ぶ」

問6 ア. 第3段落第5文の内容に不一致。「自分の夫や自分の両親の名前」ではなく「自分の夫や夫の両親の名前」を口に出すことが許されていない、と述べられている。

イ. 第4段落第9文の内容に一致。

ウ. 第4段落第7文の内容に不一致。

エ. マルケサス諸島における「初期の探検家の報告」については第2段落第4～7文で述べられているが、「最近の調査」については述べられていない。

下線部の原因・理由を説明させる問題では、まず下線部の意味を取ったうえで、関連する内容が述べられている箇所を下線部の前後から探すことになる。because や the reason is that ... といった原因・理由を表す表現がある場合は、対応箇所を見つけやすいが、そうでない場合には、「…だから、下線部の内容」という因果関係が成立するかどうかを常に確認しながら、探していくことが大切。本問の問5では、下線部に続く2文に関連する内容が述べられているが、この中で下線部と因果関係が成立するのは2文めの内容である。

要約

言葉、特に人や物の名前には魔力がある、と信じられている証拠が世界のいたる所にある。魔力の影響を考慮して、特定の言葉を避けたり、他の言葉で代用したりすることもある。

(81字)

▶ 構文・語句解説 ◀

第1段落

¹There is a large amount of evidence which shows that people believe words to have magic powers. ²This is most easily illustrated with those very special words, people's names. ³In the traditions of modern Ethiopia, the real name of a child is concealed to prevent the child from being influenced magically through the use of the name. ⁴It is believed that knowledge of the name gives power over the person who bears that name.

¹人々が言葉に魔力が備わっていると信じていることを示す証拠がたくさんある。²とても特別な言葉である、人の名前を使って、ごく簡単にこのことは例証できる。³現代のエチオピアの伝統では、子供の本名は、その名前を使うことによってその子が魔力に影響されるのを防ぐために秘密にされている。⁴名前を知ることがその名前を持っている人に力を及ぼすと信じられているのである。

- 1 a large amount of A 「たくさんの中」 evidence 「証拠」
 magic power 「魔力」
 believe O to do 「Oが…すると信じる」 do の位置には be や have がくる。
2 those very special words と people's names は同格の関係。
 be illustrated with A 「Aを使って例証される」
3 tradition 「伝統」 modern 「現代の／近代の」
 prevent O from doing 「Oが…するのを防ぐ」 influence 「に影響を及ぼす」
 magically 「(魔法にかかったかのように)不思議に」
4 give power over A 「Aに力を及ぼす」 bear 「を持っている」

第2段落

¹Beliefs of this type are widespread throughout the world. ²In Borneo, for example, the name of a sickly child is traditionally changed so that the spirits tormenting it will be deceived and leave the child alone. ³The spirits, apparently, can recognize people only by their names, not through other characteristics. ⁴An extreme example was reported by the early explorers in the Marquesas Islands. ⁵There it was possible for two people to exchange names as a sign of mutual respect. ⁶But this exchange of names also involved an exchange of responsibilities: obligations concerning the family, friends, and even enemies went with the change of name. ⁷A man might even be expected to go to war because of the responsibility to his new name.

¹この種の考え方は世界中に広がっている。²たとえばボルネオでは昔から、病気がちの子供の名前は、その子供を苦しめている靈がだまされてその子を1人に放っておいてくれるように、変えられている。³どうも靈は、他の特徴によってではなく、人を名前でしか見分けられないようである。⁴極端な例が、昔マルケサス諸島を探検した人たちによって報告された。⁵そこでは、2人の人がお互いを尊敬する証として名前を交換することが可能であった。⁶しかし、この名前の交換には責任の交換も伴っていた。家族、友人に関する義務、そして敵に関する義務

さえも、名前の変化に伴って移ったのである。⁷男性の場合、新しい名前に対する責任のために戦争に行かなければならないことさえあった。

- 1 belief 「信念、信仰」 widespread 「広く行き渡った」
 throughout A 「Aのいたるところに、Aじゅうに」
3 only by their names, not through other characteristics は X, not Y 「YではなくX」の表現。
 apparently 「(文修飾で)どうも…ようだ」
 recognize 「(人)が誰だかわかる、の見分けがつく」 characteristic 「特徴」
4 extreme 「極端な」 report 「を報告する」 early 「初期の」
 explorer 「探検家」
5 exchange 「を交換する／交換」 as a sign of A 「Aの証として」
 mutual 「相互の、互いの」
6 involve 「を(必然的に)伴う、含む」 obligation 「義務、責任」
 concerning A 「Aに関して」 go with A 「Aとともに移る」
7 be expected to do 「…することになっている」 because of A 「Aのせいで、Aが原因で」

第3段落

¹In some cultures, the use of a particular name is an offence. ²In imperial China, for instance, it was a crime to use the name of a reigning emperor. ³This could provide problems when the emperor's name was also a common word. ⁴If this occurred in an English-speaking country today where the emperor's name was Bill, it would be illegal to talk about a bill from the electricity company, a bill before parliament, or the bill of a bird. ⁵Similar prohibitions are found among the Zulus: there a woman is not allowed to utter the name of her husband or the names of his parents.

¹文化によっては、ある特定の名前を使うことが罪になる。²たとえば王朝時代の中国では、そのときに君臨している皇帝の名前を使うことは犯罪であった。³皇帝の名前がありふれた単語でもあった場合には、さまざまな問題を引き起こすこともある。⁴もしこのことが王の名前がBill であるような英語圏の国で起きるなら、電力会社からのbill(請求書)、国会を通過する前のbill(法案)、または鳥のbill(くちばし)について話をすることが違法になるだろう。⁵同様の禁止事項がズールー族の間で見られる。そこでは女性が夫の名前や夫の両親の名前を口に出すことは許されていないのである。

- 1 particular 「特定の」 offence 「罪、違反」

2 imperial 「皇帝の／王政の」 crime 「犯罪」 reigning 「君臨している」

emperor 「皇帝」

3 provide 「を提供する, 与える」

4 假定法過去の文であり, if 節内において, where 以下は an English-speaking country を修飾する関係副詞節。

illegal 「違法の, 非合法的な」 electricity company 「電力会社」

parliament 「(イギリスなどの)国会」

5 similar 「よく似た, 同様の」 prohibition 「禁止事項」

allow O to do 「Oが…するのを許す」 utter 「を口に出す, 発話する」

参考文献: 第4段落

¹Similar kinds of constraints can apply to the names of things, as well as to the names of people. ²It is fairly common to find a taboo against the use of the name of a powerful animal such as a bear, tiger, or crocodile. ³Instead, phrases like 'honey-eater' or nicknames like 'Bruin' are used. ⁴In parts of Africa and India it is not acceptable to call a snake a 'snake.' ⁵Instead, you say things like 'There is a strap' or 'There is a rope.' ⁶It is believed that if you call something a snake, it is likely to act like a snake and bite you. ⁷In a similar way, Bavarian farmers in Germany traditionally do not call a fox a 'fox,' in case using the word brings the fox and causes it to attack their hens. ⁸In a very similar way, we still say 'Talk of the devil,' suggesting that speaking of someone causes them to appear. ⁹Finally, and more subtly, it used to be the case in China that a doctor who did not have the appropriate drug for his patient would write the name of the drug on a piece of paper, burn it, and get the patient to eat the ashes. ¹⁰It was believed that the name of the drug would be just as effective as the drug itself.

¹同種の制約は、人の名前だけでなく事物の名前にも当てはまる。²クマやトラやワニのような力の強い動物の名前を使うことに対するタブーが見つかることはとてもよくある。³代わりに、「蜂蜜食い」のような表現や「ブルーイン」のようなニックネームが使われる。⁴アフリカやインドの地方では、ヘビを「ヘビ」と呼ぶことが受け入れられていない。⁵その代わりに、「ひもある」とか「ロープがある」というようなことを言う。⁶何かをヘビと呼ぶと、それがヘビのように振る舞って噛みつくだろう、と信じられているのだ。⁷同様に、ドイツのバイエルン地方の農夫たちは昔からキツネを「キツネ」と呼ばないが、それはその言葉を使うとキツネを呼び寄せ、自分たちのめんどりを襲う原因となるといけないからである。⁸また同様に、私たちは今でも「うわさをすれば影」と言って、誰かのことを話すとその人が姿を現すことをほのめかす。⁹最後に、そしてより理解しがたいことだが、患者のための適切な薬がない医者はその薬の名前を紙に書いて燃やし、その灰を患者に食べさせた、というのが中国の実情であった。¹⁰薬の名前は薬そのものと同じくらい効果がある、と信じられていたのである。

めかす。⁹最後に、そしてより理解しがたいことだが、患者のための適切な薬がない医者はその薬の名前を紙に書いて燃やし、その灰を患者に食べさせた、というのが中国の実情であった。¹⁰薬の名前は薬そのものと同じくらい効果がある、と信じられていたのである。

1 constraint 「制約」 apply to A 「Aに当てはまる」

X as well as Y 「YだけでなくXも」

2 fairly 「かなり」 taboo against A 「Aに関するタブー, 禁忌」

crocodile 「ワニ, クロコダイル」

3 instead 「その代わりに, そうではなくて」 phrase 「表現, 文句」

honey-eater 「蜂蜜食い」

Bruin 「ブルーイン」 中世の動物叙事詩 Reynard the Fox に登場するクマの名前から、一般にクマの愛称として使われるようになった。

5 strap 「ひも」

6 be likely to do 「たぶん…するだろう, …する可能性が高い」

7 in case 節内は using the word が主語であり, brings the fox と causes it to attack their hens の2つの動詞句が and で結ばれている。

in a similar way 「同様に」 in case S V ... 「…するといけないから」

cause O to do 「Oに…させる」 hen 「めんどり」

8 suggesting 以下は分詞構文。

Talk of the devil は「うわさをすれば影」という意味のことわざ。Talk [Speak] of the devil and he will appear. が正式な言い方で、「悪魔のうわさをしてごらん、そうすれば悪魔が姿を現すだろう」という意味。たいていは Talk [Speak] of the devil. の部分だけが使われる。

suggest that 節 「…ということを示唆する」

9 it used to be the case in China that ... において、it は形式主語で、真主語は that 以下。なお、write the ... of paper と burn it と get the ... the ashes の3つの動詞句が and で結ばれている。

subtly 「理解しがたいことだが」 be the case 「実情である」

appropriate 「適切な」 drug 「薬」 patient 「患者」 burn 「を燃やす」

get O to do 「Oに…させる, してもらう」 ash 「灰」

10 just as ... as ~ 「～とちょうど同じだけ...」 effective 「効き目がある, 効果的な」

解 答

問 1 エ. fuzzy

問 2 (2a) ウ (2b) イ

問 3 そこで働く人の多くは、動物実験は医学の研究を進める唯一の方法である、と無理やり信じ込んでいた。

問 4 using animals in research

問 5 エ. questioning

問 6 cell and tissue cultures, computer simulations

問 7 軽率に、悲痛な思いもせず、別の方法を見つけようと努力することもしないで、動物を利用することは私たちを人間としておとしめるということに、ますます多くの人が気づき始めていると私は信じている。

▷▷ 設問解説 ◀◀

問 1 空所(1)を含む文の主語 David Greybeard とは、第 1 段落第 2 文より筆者が仲良くなったチンパンジーである。続く第 3～5 文では、このチンパンジーとの「人間的」触れ合いについて述べられていることから、動物と人間との区別があいまいであることが読み取れる。

ア.「明確な」イ.「都合のよい」ウ.「根本的な」エ.「あいまいな」

問 2 subject は名詞として「主題／学科／実験対象、被験者」、形容詞として be subject to A で「A に従属している／A を受けやすい」、動詞として subject A to B で「A を B に従属させる／A に B を受けさせる」という意味がある多義語。(2a) は名詞で「実験対象」、(2b) は動詞で「受けさせる」という意味。

ア.「価格は予告なく変更することがあります」

イ.「罪のない民間人が非人道的な扱いを受けた」

ウ.「この実験の被験者はすべて 35 歳の男性だった」

エ.「およそ 20 年前まで、環境の話題が論じられることはほとんどなかった」

問 3 working there は主語 Many people を修飾する現在分詞句。force O to do は「O に無理やり…させる」という意味なので、ここでは「自分自身に無理やり…と信じさせる、…と無理やり信じ込む」となる。また、believe の目的語である that 節内の the way forward for A は「A にとって役立つこと、A を前進

させるもの」という意味。

 animal testing 「動物実験」 medical 「医学の」 research 「研究」

問 4 do so は前に用いられた動詞句の代用となる。また、何をすることが「倫理に反すると論じることが難しくなる」のかを考える。第 3 段落では「研究で動物を利用することが倫理にかなうことかどうか」を問題にしている。

問 5 空所(5)の後ろの文では「チンパンジーはエイズの研究には役に立たない」ということが述べられている。したがって、空所(5)には「動物が医学の研究に欠くことができないという前提」を否定するという意味のものが入る。

ア.「を受け入れること」イ.「をすること」ウ.「を支持すること」エ.「を疑うこと」

問 6 alternative は「代替手段、代わりのもの」という意味。第 4 段落第 5 文に「医療技術によって代替手段が利用できるようになってきている」とあり、続く第 6 文には cell and tissue cultures が、第 7 文に computer simulations が紹介されている。

問 7 become aware that … 「…ということに気づく」の that 節内の構造の把握がポイント。to use … が主語となる名詞用法の不定詞句。diminishes が述語動詞、us が目的語である。without any … another way は thoughtlessly と共に use animals を修飾する副詞(句)で、前置詞 without に続く名詞として any anguish と making an … another way の動名詞句が or で結ばれている。

 thoughtlessly 「軽率に」 anguish 「苦悩」 make an effort to do 「…しようと努力する」 diminish 「の権威を落とす、を減らす」

A. 単語や語句の意味

単語や語句の意味を問う問題では、多義語が狙われることが多い。本問の問 3 の subject は典型的な多義語である。また、難語の意味を文脈から推測させる問題では、易しい語句で言い換えられていることが多いので、その箇所を見つけることがポイントになる。この種の問題では、語いの知識が大前提ではあるが、選択肢に与えられた語句で置き換えることで答えが得られることがある。

要 約

医学の進歩のためには動物実験が不可欠であるとされているが、倫理的に問題が多い。代替手段を用いることで動物実験の数を減らすようにすべきである。(70字)

▶ 構文・語句解説 ◀

第1段落

¹David Greybeard first showed me how fuzzy the distinction between animals and humans can be. ²Forty years ago I befriended David, a chimpanzee, during my first field trip to Gombe in Tanzania. ³One day I offered him a nut in my open palm. ⁴He looked directly into my eyes, took the nut out of my hand and dropped it. ⁵At the same moment he gently squeezed my hand as if to say, I don't want it but I understand your motives.

¹動物と人間の区別がいかにあいまいなものなのかも、デイビッド・グレイビアードが初めて私に教えてくれた。²40年前、タンザニアのゴンベへ初めて現地調査に出かけたときに、私はチンパンジーのデイビッドと仲良くなつた。³ある日、私は手のひらに木の実をのせて彼に差し出した。⁴彼は私の目をまっすぐ見つめ、私の手から木の実を取つて、それを落とした。⁵同時に、それは欲しくないけど君の想いはわかる、とでも言いたげに、優しく私の手を握つた。

1 how 以下は showed の目的語となる名詞節。

distinction between A and B 「AとBの区別」

2 befriend 「と友達になる」 field trip 「現地調査」

3 palm 「手のひら」

4 look into A 「Aをのぞき込む」 drop 「を落とす」

5 gently 「優しく」 squeeze A's hand 「Aの手を握る」

as if to do 「まるで…するかのように」 motive 「動機」

第2段落

¹Since chimpanzees are thought to be physiologically close to humans, researchers use them as test subjects for new drugs and vaccines. ²In the labs, these very sociable creatures often live isolated from one another in 5-by-5-foot cages, where they grow bad-tempered and sometimes violent. ³Dogs, cats and rats are also kept in poor conditions and subjected to painful procedures. ⁴Many people would find it hard to sympathize with rats, but dogs and cats are part of our lives. ⁵Ten or fifteen years ago, when the use of animals in medical testing was first brought to my attention, I decided to visit the labs myself. ⁶Many people working there had forced themselves to believe that animal testing is the only way forward for medical research.

¹チンパンジーは生理学的に人間に近いと考えられているので、研究者は新しい薬やワクチンの実験対象としてチンパンジーを利用している。²研究室では、この極めて社交的な生き物は5フィート四方の檻の中でお互いに隔離されて過ごすことが多く、そこで不機嫌になり、ときに暴力的になることもある。³犬や猫、ネズミも劣悪な状態で飼われ、苦痛を伴う処置を施される。⁴ネズミに同情するのは難しいと思う人が多いが、犬や猫は私たちの生活の一部になっている。⁵10年か15年前に、医学実験における動物の利用に初めて注目したとき、私は自分で研究室を訪れることにした。⁶そこで働く人の多くは、動物実験は医学の研究を進める唯一の方法である、と無理やり信じ込んでいた。

1 be close to A 「Aに近い」 researcher 「研究者」 drug 「薬」

2 isolated from one another in 5-by-5-foot cages, where ... の isolated from ... 5-by-5-foot cages は分詞構文。where 以下は 5-by-5-foot cages を修飾する関係副詞節。

lab 「研究室、実験室」 (=laboratory) sociable 「社交的な」 isolate 「を隔離する」

5-by-5-foot 「5 フィート四方の」 cage 「檻」 bad-tempered 「不機嫌な」

3 poor 「劣悪な、劣った」 condition 「状態」 painful 「苦痛な」

procedure 「処置、手続き」

4 find it hard to sympathize with rats の it は形式目的語で、真目的語は to sympathize 以下。

sympathize with A 「Aに同情する」 rat 「ネズミ」

5 medical testing 「医学実験」 bring O to A's attention 「OをAに注目させる」

第3段落

¹Once we accept that animals are capable of feeling, is it ethical to use them in research? ²From the point of view of the animals, it is quite simply wrong. ³From our standpoint, it seems ridiculous to equate a rat with a human being. ⁴If we clearly and honestly believe that using animals in research will, in the end, reduce massive human suffering, it would be difficult to argue that doing so is unethical. ⁵How do we find a way out of this dilemma?

¹動物も感じる能力があるということをひとたび認めると、研究で動物を利用するることは倫理にかなうことなのだろうか。²動物の観点からすると、それはまったく間違っている。³人間の立場に立てば、ネズミと人間を同一視することはばかげている。⁴研究で動物を利用する事が、結局は人間の苦しみを大幅に減らすことになると、はっきりとそして心から信じているのであれば、そうすることが倫理に反することであると論じることは難しくなるだろう。⁵このよ

うなジレンマからどのように抜け出すことができるであろうか。

1 once S V ... 「ひとたび…すると」 be capable of *doing* 「…する能力がある」

ethical 「倫理にかなう, 道徳的な」

2 from the point of view of A 「Aの観点から」

3 from A's standpoint 「Aの立場から」 ridiculous 「ばかげた」

equate A with B 「AをBと同一視する」

4 in the end 「結局は」 reduce 「を減らす」 massive 「莫大な」

suffering 「苦しみ」 argue that 節 「…と論じる」

5 a way out of A 「Aを抜け出す方法」 dilemma 「ジレンマ, 板挟み」

第4段落

¹One thing we can do is change our way of thinking. ²We can begin by questioning the assumption that animals are essential to medical research. ³Scientists have concluded that chimpanzees are not useful for AIDS research because, even though their genetic makeup differs from ours by about 1 percent, their immune systems deal much differently with the AIDS virus. ⁴Many scientists test drugs and vaccines on animals simply because they are required to by law rather than out of scientific merit. ⁵This is a shame, because our medical technology is beginning to provide alternatives. ⁶We can perform many tests on cell and tissue cultures without needing to harm animals. ⁷Computer simulations can also cut down on the number of animal tests we need to run. ⁸We aren't exploring these alternatives vigorously enough.

¹私たちにできることの1つは考え方を変えることである。²動物が医学の研究に欠くことができないという前提を疑うことから始めることができる。³チンパンジーは、遺伝子の構成が人間とおよそ1%異なるだけだとしても、免疫系がエイズウィルスに対してついぶん異なる反応を示すために、エイズの研究には役に立たない、と研究者は結論を下している。⁴多くの科学者は、科学的価値というよりは、法律によって求められているという理由だけで、薬やワクチンを動物で検査している。⁵これは遺憾なことである。というのも、医療技術によって代替手段が利用できるようになってきているからである。⁶私たちは、動物を傷つけることもなく、細胞や組織培養によって多くの検査を行うことができる。⁷また、コンピュータによるシミュレーションによって、行う必要のある動物を用いた検査の数を減らすこともできる。⁸私たちは、こうした代替手段を十分には探求していないのである。

¹ One thing we can do is change ... の we can do は One thing を修飾する関係代名詞節。また、主語の一部に一般動詞の do が用いられ、be to do ... という形が主語に続くときに、be do ... とすることができる。

² that 以下は the assumption と同格の名詞節

assumption 「前提, 仮定」 be essential to A 「Aにとって不可欠である」

3 conclude that 節 「…と結論を下す」 genetic 「遺伝子の」 makeup 「構成」

differ from A 「Aと異なる」 by A 「Aの差で」

deal with A 「Aに対処する」 virus 「ウイルス」

4 they are required to=they are required to test drugs and vaccines on animals

test A on B 「Bに対してAを検査する」 simply because S V... 「単に…という理由で」

require O to do 「Oは…するように命ずる」 X rather than Y 「YよりもむしろX」

out of A 「Aから」 scientific merit 「科学的価値」

5 shame 「残念なこと」

6 cell 「細胞」 tissue 「(細胞)組織」

7 we need to run は animal tests を修飾する関係代名詞節。

simulation 「シミュレーション, 模擬実験」 cut down on A 「Aを減らす」

run 「(実験・テストなど)を行う, 実施する」

8 explore 「を探求する」 vigorously 「活発に」

第5段落

¹Ten or fifteen years ago animal-rights activists resorted to violence against humans in their efforts to break through the public's terrible indifference and lack of imagination on this issue. ²This extremism is counterproductive. ³I believe that more and more people are becoming aware that to use animals thoughtlessly, without any anguish or making an effort to find another way, diminishes us as human beings.

¹10年か15年前に動物の権利を求める活動家は、この問題に関する一般大衆のひどい無関心と想像力の欠如を打破しようとして、人間に対する暴力に訴えた。²この過激主義は逆効果である。³軽率に、悲痛な思いもせず、別の方法を見つけようと努力することもしないで、動物を利用することは私たちを人間としておとしめるということに、ますます多くの人が気づき始めていると私は信じている。

- 1 animal-right 「(虐待から保護される)動物の権利」 activist 「活動家」
- resort to A 「A(手段など)に訴える」 break through A 「Aを打破する, 突破する」
- indifference 「無関心」 lack 「欠如」 issue 「問題, 論点」
- 2 extremism 「過激主義, 極端主義」 counterproductive 「逆効果の」

10

赤ちゃんを左側に抱く理由

解説

問1 母親の赤ちゃんに対する振舞い方の1つか2つの側面を考察することは価値がある。

問2 ウ

問3 エ. True

問4 22

問5 the fact that the heart is on the left side of

問6 これは奇妙に聞こえるかもしれないが, それにもかかわらずこれが正しい説明であることを明らかにする調査がいくつか今までに行われている。

問7 ア. crying

▷▷ 設問解説 ◀◀

問1 it is worth *doing* は「…することは価値がある」という意味の表現。また, the way S V ... は「…する方法, 様子」という意味。ここでは「母親が赤ちゃんに対して振舞う方法」が直訳。

look at A 「Aを考察する, 観察する」 aspect 「側面」

問2 下線部(2)は, holding 以下が分詞構文で, 「母親の80パーセントが, 左腕で乳児を抱いてあやし, 身体の左側にかかえていること」という意味。その理由として第1段落第4, 5文で「母親は利き腕である右手を使えるように赤ちゃんを左側に抱く」という説が述べられているが, 第6文でこれを否定している。第2段落で「赤ちゃんが胎内で聞き慣れた鼓動音が聞こえるように心臓のある左側に抱く」という説が述べられ, これを裏づける調査が第3段落にある。したがって, 正解はウ。

cradle 「をあやす, そっと抱く」 infant 「乳児」

問3 空所(3)の直前には「左腕で赤ちゃんを抱くことで, 母親は利き腕を使えるように空けておくということは実情ではない」とあり, 「母親は利き腕である右手を使えるように赤ちゃんを左側に抱く」という説を否定している。空所(3)の後ろでは「右利きと左利きの女性の間では違いはある」といったん否定した説を裏づけることを述べた上で, but 以下には「利き腕に関係なく大多数の母親が赤ちゃんを左側に抱く」という内容が続き, 「母親は利き腕である右手を使えるよ

うに赤ちゃんを左側に抱く」という説を再度否定している。True, S V ..., but ~「確かに…であるが、～」は前に述べた内容と反対の内容を but の前で譲歩的に述べた上で、but 以下で前の内容に戻ることで強調するという文脈で用いられる。したがって、エが正解。

例 He's done nothing. True, he is clever, but he's not very helpful.

「彼は何もしていない。確かに頭はいいが、あまり役に立たない」

ア.「たとえば」イ.「そのうえ」ウ.「したがって」エ.「確かに」

問4 空所(4)を含む文の文頭にある In other words 「言い換えれば」は、その前に述べた内容と同じことを、別の言葉で言い換えるときに用いられる。前の文の but 以下は so + 助動詞 + S 「Sもまたそうである」の表現で、ここでは「左利きの母親の78パーセントも左側に赤ちゃんを抱く」という意味。したがって、「左利きの母親の中で利き手を何かをやるために空けておく」つまり「右手で赤ちゃんを抱く」母親の割合は22パーセントになる。

問5 下線部(5)を含む文の主語 The only other clue とは第1段落で述べられた「母親は利き腕である右手を使えるように赤ちゃんを左側に抱く」こと以外の手がかりのことである。第2段落第4文以降、「赤ちゃんが胎内で聞き慣れた鼓動音を聞けるように心臓のある左側に抱く」という説が紹介されている。したがって、「他に唯一考えられる手がかりは、心臓が母親の身体の左側にあるという事実から得られる」という意味になるように the fact that the heart is on the left side of と並べ換えればよい。that 以下は the fact と同格の名詞節である。

問6 but 以下の文の構造の把握がポイント。carry A out 「Aを行う」が受動態で用いられ、which 以下は tests を修飾する関係代名詞節。このように、関係代名詞節と修飾される名詞が離れていることがある。なお、it は this を指している。

例 Only those people were invited to the party who were interesting to talk to.

「話を面白い人だけがそのパーティーに招待された」

sound C 「Cに聞こえる」 reveal that 節「…を明らかにする」

nevertheless 「それにもかかわらず、やはり」 explanation 「説明」

問7 「鼓動音を聞かされなかったグループは、何をやった結果、ずっと多くのエネルギーを消費していたのか」を考える。第3段落第3文に「鼓動音が流されていない時間の60パーセントの間泣いていたが、この数字が、鼓動音が流されているときにはわずか38パーセントに下がった」とあるので、正解はア。

ア.「泣くこと」イ.「食べること」ウ.「眠ること」エ.「聞くこと」

文と文との意味の関係、論旨の展開をはっきりさせるために用いられる表現があり、ディスコース・マーカーと呼ばれる。本問の問3で問われている True, S V ..., but ~ もそうした表現の1つである。空所補充問題で問われる以外に、こうした表現が解答のヒントになることが多い。またディスコース・マーカーに着目することが論旨の展開を把握するのにも役立つ。

1. 追加・列挙

順序立てて何かを列挙するとき、前に述べたことにさらに情報を追加するときに用いる。

「第1に」 first (ly) / first of all / in the first place / to begin with

「次に」 second (ly) / next / then

「そのうえ」 furthermore / moreover / what is more / in addition / besides

「最後に」 finally / last (ly) / last of all

2. 例示・明確化

前に述べた内容に具体例を挙げるときや、同じ内容を別の言葉で言い換えるときに用いる。

「たとえば」 for example / for instance / such as

「言い換えれば」 in other words / to put it another way / that is (to say)

本問の問4では、in other words が解答する際のヒントになっている。

要約

大多数の母親が赤ちゃんを左側に抱くのは、利き腕である右手を使えるようにするためにではなく、赤ちゃんが胎内で聞き慣れた鼓動音が聞こえるように心臓のある左側に抱くからである。(84字)

▷ 構文・語句解説 ◁

第1段落

It is worth looking at one or two aspects of the way a mother behaves towards her baby. ²The usual fondling, cuddling and cleaning require little comment, but the position in which she holds the baby against her body when resting is rather revealing. ³Careful American studies have disclosed that 80 per cent of mothers cradle their infants in their left arms, holding them against the left side of their bodies. ⁴If asked to explain the significance of this preference, most people reply that it is obviously due to the fact that

more mothers are right-handed. ⁵By holding the babies in their left arms, the mothers keep their dominant arm free for manipulations. ⁶But a detailed analysis shows that this is not the case. ⁷True, there is a slight difference between right-handed and left-handed females, but not enough to provide an adequate explanation. ⁸It emerges that 83 per cent of right-handed mothers hold the baby on the left side, but then so do 78 per cent of left-handed mothers. ⁹In other words, only 22 per cent of the left-handed mothers have their dominant hands free for actions. ¹⁰Clearly there must be another less obvious explanation.

¹母親の赤ちゃんに対する振舞い方の1つか2つの側面を考察することは価値がある。²いつものように撫でてやることや抱きしめてやること、清潔にしてやることは特に説明する必要はないが、母親が赤ちゃんを眠っているときに抱く身体に対する位置から明らかになることがある。³慎重に行われたアメリカでの研究によって、母親の80パーセントが、左腕で乳児を抱いてあやし、身体の左側にかかえていることが分かった。⁴このような優先傾向の意味を説明するように求められると、それは明らかに右利きの母親の方が多いという事実によるものである、とたいていの人は答える。⁵左腕で赤ちゃんを抱くことで、母親は利き腕を使えるように空けておくのである。⁶しかし、詳しく分析すると、これが実情ではないことが分かる。⁷確かに、右利きと左利きの女性の間ではわずかな違いはあるものの、十分な説明になるほどの違いではない。⁸右利きの母親の83パーセントが左側に赤ちゃんを抱く一方で、左利きの母親の78パーセントも同じようにすることが明らかになる。⁹言い換えれば、左利きの母親の中で利き手を何かをするために空けておく者は22パーセントしかいないのである。¹⁰明らかに、すぐには分からないような説明が他にあるに違いない。

2 when resting = when it is resting

require 「を必要とする」 rest 「眠る、休む」

revealing 「(隠された事実などを)明らかにする」

3 disclose 「を明らかにする」

4 If asked to explain ... = If they are asked to explain ...

that more mothers are right-handed は the fact と同格の名詞節。

significance 「意味」 preference 「優先傾向、より好むこと」 obviously 「明らかに」

S be due to A 「SはAのせいである」 right-handed 「右利きの」

5 keep O C 「OをCにしておく」 manipulation 「操作」

6 detailed 「詳しい」 analysis 「分析」 be the case 「実情である」

7 but not enough to provide ... = but there is not enough difference to provide ...

slight 「わずかな」 left-handed 「左利きの」 female 「女性」

adequate 「十分な、適切な」

8 emerge 「明らかになる、現れる」 but then 「しかし一方では」

9 have O C 「OをCにする」

10 obvious 「見てすぐわかる、明白な」

第2段落

¹The only other clue comes from the fact that the heart is on the left side of the mother's body. ²Could it be that the sound of her heart-beat is the vital factor? ³And in what way? ⁴Thinking along these lines it was argued that perhaps during its existence inside the body of the mother, the growing embryo becomes fixated on the sound of the heart-beat. ⁵If this is so, then the re-discovery of this familiar sound after birth might have a calming effect on the infant, especially as it has just been thrust into a strange and frighteningly new world outside. ⁶If this is so, then the mother, either instinctively or unconsciously, would soon arrive at the discovery that her baby is more at peace if held on the left against her heart, than on the right.

¹他に唯一考えられる手がかりは、心臓が母親の身体の左側にあるという事実から得られる。²母親の鼓動の音が決定的な要因であるということはありえるだろうか?³またどのようにありえるだろう?⁴この方向で考えて、おそらく母親の胎内にいる間に、成長する胎児は鼓動の音を心の奥底に記憶すると論じられた。⁵もしそうであれば、誕生後この聞き慣れた音を再発見することは、特に見知らぬ、恐ろしいほど目新しい外界へ押し出されたばかりの時には、乳児に対して沈静効果を持つかもしれない。⁶そうだとすれば、母親は、本能的にあるいは無意識のうちに、赤ちゃんは右側よりも、心臓にあたる左側に抱くと安心することをすぐに発見することになるだろう。

1 clue 「手がかり」

2 it could be that 節 「…ということがりえる」

heart-beat 「心臓の鼓動」 vital 「決定的な、極めて重要な」 factor 「要因」

3 in what way? = in what way could it be that the sound of her heart-beat is the vital factor?

4 thinking along these lines 「この方向で考えて」 argue 「と論じる、主張する」

5 If this is so の this は第4文の that 節の内容を指す。

re-discovery 「再発見」 calming 「落ち着かせる」 effect 「効果」

thrust A into B 「AをBに押し出す」 frighteningly 「恐ろしいほど」

6 If this is so の this は第5文の内容を指す。that 以下は the discovery と同格の名詞節。

if held on the left ... = if it is held on the left ...

instinctively 「本能的に」 unconsciously 「無意識のうちに」 at peace 「安らかな」

第3段落

¹This may sound strange, but tests have now been carried out which reveal that it is nevertheless the true explanation. ²Groups of new-born babies in a hospital nursery were exposed for a considerable time to the recorded sound of a heart-beat at a standard rate of 72 beats per minute. ³There were nine babies in each group and it was found that one or more of them was crying for 60 per cent of the time when the sound was not switched on, but that this figure fell to only 38 per cent when the heart-beat recording was thumping away. ⁴The heart-beat groups also showed a greater weight-gain than the others, although the amount of food taken was the same in both cases. ⁵Clearly the beatless groups were burning up a lot more energy as a result of the vigorous actions of their crying.

¹これは奇妙に聞こえるかもしれないが、それにもかかわらずこれが正しい説明であることを明らかにする調査がいくつか今までに行われている。²病院の育児室にいる新生児のグループに、1分間に72回という標準的な脈拍の録音された鼓動音を相当期間聞かせた。³それぞれのグループには9人の赤ちゃんがいて、そのうちの少なくとも1人以上が、音が流されていない時間の60パーセントの間泣いていたが、この数字が、鼓動の録音がドキンドキンと鳴っているときにはわずか38パーセントに下がることが判明した。⁴鼓動音を聞かされたグループはまた、もう一方のグループと比べて、摂取した食事の量はいすれでも同じであったにもかかわらず、体重の増加が著しかった。⁵明らかに、鼓動音を聞かされなかったグループは、泣くという激しい運動の結果、ずっと多くのエネルギーを消費していたのである。

2 nursery 「育児室」 expose A to B 「AをBにさらす」

considerable 「相当な、かなりの」 standard 「標準的な」

3 switch A on 「Aのスイッチを入れる」 figure 「数字」

4 the amount of food taken の taken は food を修飾する形容詞用法の過去分詞。

weight-gain 「体重の増加」

5 beatless 「鼓動音のない」名詞+less で「…がない」という意味の形容詞を作る。

burn A up 「A(エネルギーなど)を使い尽くす、消費する」

a lot+比較級 「ずっと…、はるかに」 vigorous 「激しい、活発な」